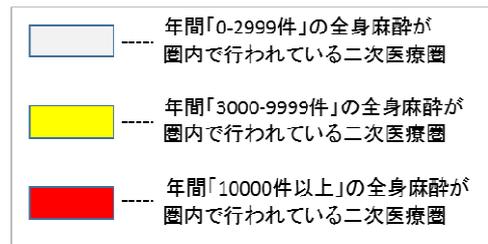
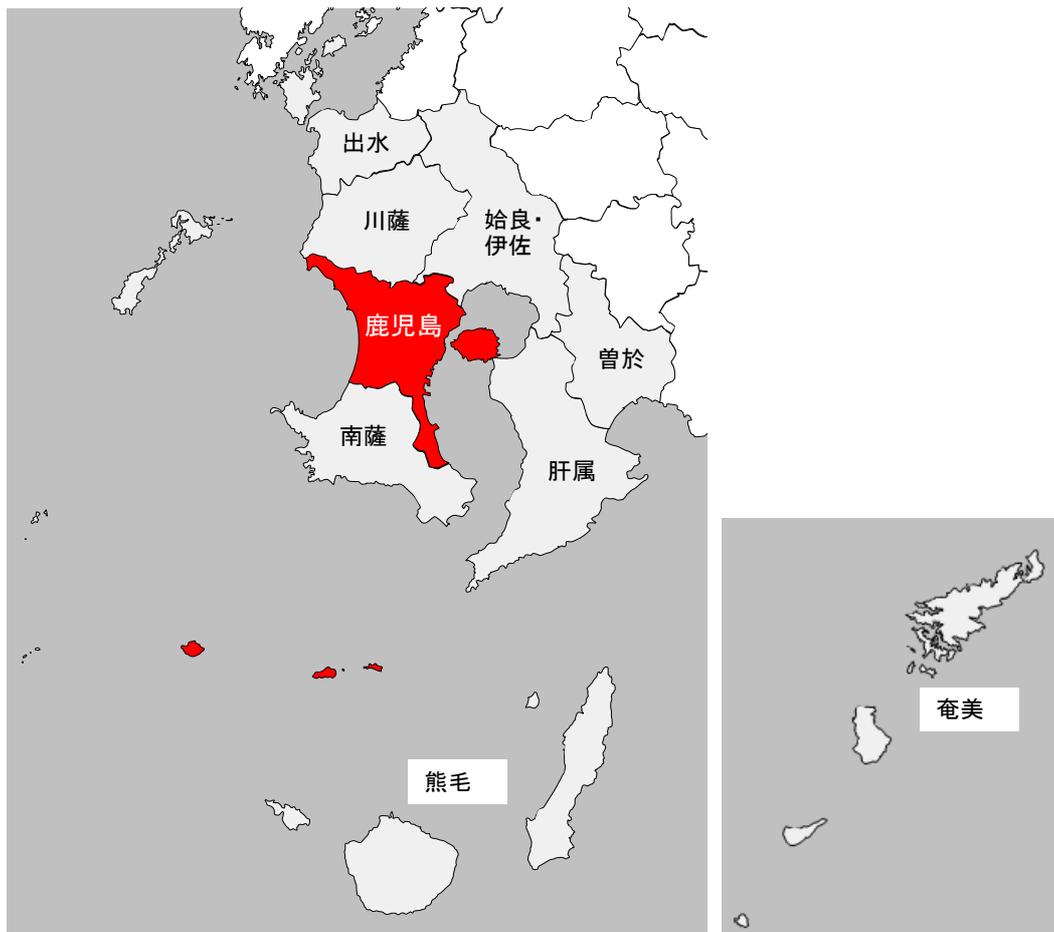


# 46. 鹿児島県



目次

鹿児島県 .....	46	-	3
1. 鹿児島医療圏 .....	46	-	9
2. 南薩医療圏 .....	46	-	15
3. 川薩医療圏 .....	46	-	21
4. 出水医療圏 .....	46	-	27
5. 始良・伊佐医療圏 .....	46	-	33
6. 曾於医療圏 .....	46	-	39
7. 肝属医療圏 .....	46	-	45
8. 熊毛医療圏 .....	46	-	51
9. 奄美医療圏 .....	46	-	57

## 鹿児島県

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は146,047人(-8%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は785人(22%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は261人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は33%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

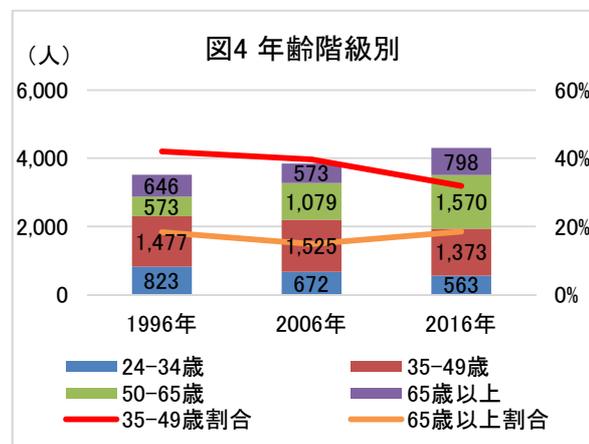
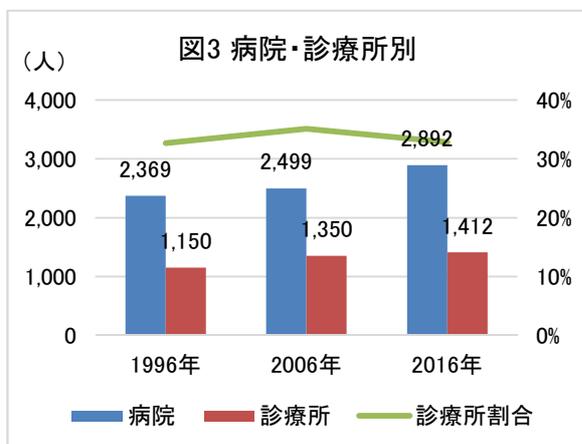
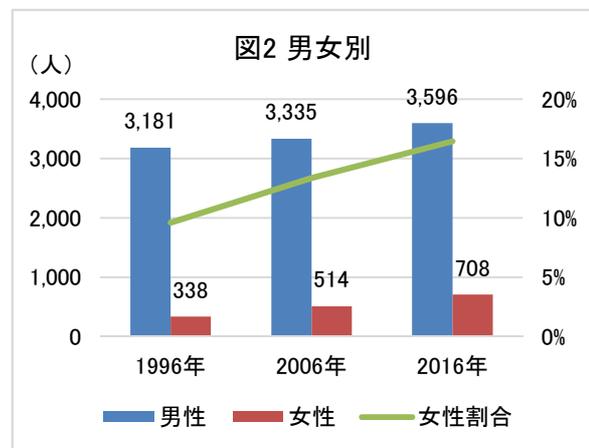
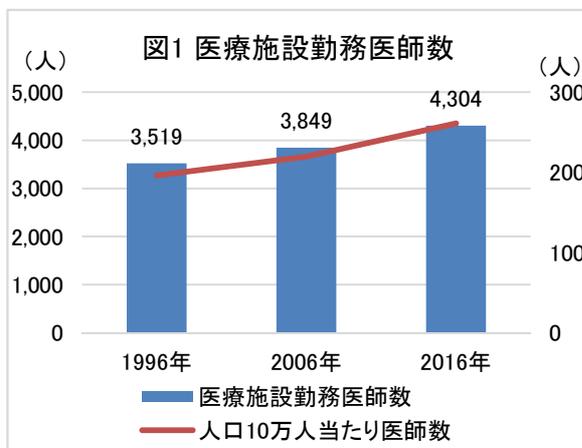
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて415人(13%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に370人(109%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は16%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて523人(22%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に262人(23%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は33%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は104人(-7%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて152人(24%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年18%、2016年19%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 鹿児島県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,794,224	1,753,179	1,648,177	-146,047	-8%	-41,045	-2%	-105,002	-6%	
総医師数	3,659	4,023	4,461	802	22%	364	10%	438	11%	
人口10万対	203.9	229.5	270.7	66.7	33%	25.5	13%	41.2	18%	
医療施設勤務医師数	3,519	3,849	4,304	785	22%	330	9%	455	12%	
人口10万対	196.1	219.5	261.1	65.0	33%	23.4	12%	41.6	19%	
男性医師数	3,181	3,335	3,596	415	13%	154	5%	261	8%	
人口10万対	177.3	190.2	218.2	40.9	23%	12.9	7%	28.0	15%	
女性医師数	338	514	708	370	109%	176	52%	194	38%	
人口10万対	18.8	29.3	43.0	24.1	128%	10.5	56%	13.6	47%	
病院勤務医師数	2,369	2,499	2,892	523	22%	130	5%	393	16%	
人口10万対	132.0	142.5	175.5	43.4	33%	10.5	8%	32.9	23%	
診療所勤務医師数	1,150	1,350	1,412	262	23%	200	17%	62	5%	
人口10万対	64.1	77.0	85.7	21.6	34%	12.9	20%	8.7	11%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.5	49.3	52.2	4.6	10%	1.8	4%	2.9	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	823	672	563	-260	-32%	-151	-18%	-109	-16%
	35-49歳	1,477	1,525	1,373	-104	-7%	48	3%	-152	-10%
	50-64歳	573	1,079	1,570	997	174%	506	88%	491	46%
	65歳以上	646	573	798	152	24%	-73	-11%	225	39%
	75歳以上(再掲)	201	273	270	69	34%	72	36%	-3	-1%
男性	24-34歳	659	472	396	-263	-40%	-187	-28%	-76	-16%
	35-49歳	1,351	1,307	1,055	-296	-22%	-44	-3%	-252	-19%
	50-64歳	554	999	1,389	835	151%	445	80%	390	39%
	65歳以上	617	557	756	139	23%	-60	-10%	199	36%
	75歳以上(再掲)	186	265	263	77	41%	79	42%	-2	-1%
女性	24-34歳	164	200	167	3	2%	36	22%	-33	-17%
	35-49歳	126	218	318	192	152%	92	73%	100	46%
	50-64歳	19	80	181	162	853%	61	321%	101	126%
	65歳以上	29	16	42	13	45%	-13	-45%	26	163%
	75歳以上(再掲)	15	8	7	-8	-53%	-7	-47%	-1	-13%
病院	24-34歳	790	642	550	-240	-30%	-148	-19%	-92	-14%
	35-49歳	1,084	1,102	1,102	18	2%	18	2%	0	0%
	50-64歳	255	534	897	642	252%	279	109%	363	68%
	65歳以上	240	221	343	103	43%	-19	-8%	122	55%
	75歳以上(再掲)	83	91	107	24	29%	8	10%	16	18%
診療所	24-34歳	33	30	13	-20	-61%	-3	-9%	-17	-57%
	35-49歳	393	423	271	-122	-31%	30	8%	-152	-36%
	50-64歳	318	545	673	355	112%	227	71%	128	23%
	65歳以上	406	352	455	49	12%	-54	-13%	103	29%
	75歳以上(再掲)	118	182	163	45	38%	64	54%	-19	-10%
	85歳以上(再掲)	20	31	55	35	175%	11	55%	24	77%

## 鹿児島県

## ＜医師数の推移＞

鹿児島県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、精神科、小児外科、脳神経外科、泌尿器科、リハビリテーション科であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、心臓血管外科、形成外科、泌尿器科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	3,519	196.1	52	3,849	219.5	52	4,304	261.1	52	785	22%	65.0	33%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	1,585	88.3	54	1,571	89.6	54	1,754	106.4	55	169	11%	18.1	20%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	153	8.5	45	168	9.6	46	189	11.5	47	36	24%	2.9	34%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	191	10.6	57	247	14.1	60	265	16.1	57	74	39%	5.4	51%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	413	23.0	52	362	20.6	54	358	21.7	54	-55	-13%	-1.3	-6%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	18	1.0	59	17	1.0	58	19	1.2	58	1	6%	0.1	15%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	12	0.7	44	30	1.7	48	34	2.1	48	22	183%	1.4	208%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	88	4.9	52	102	5.8	54	117	7.1	55	29	33%	2.2	45%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	258	14.4	53	283	16.1	53	308	18.7	54	50	19%	4.3	30%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	13	0.7	47	19	1.1	47	22	1.3	45	9	69%	0.6	84%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	84	4.7	48	97	5.5	48	105	6.4	48	21	25%	1.7	36%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	114	6.4	45	139	7.9	46	149	9.0	47	35	31%	2.7	42%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	106	5.9	47	106	6.0	47	106	6.4	47	0	0%	0.5	9%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	75	4.2	50	91	5.2	52	114	6.9	55	39	52%	2.7	65%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	177	9.9	50	154	8.8	49	168	10.2	50	-9	-5%	0.3	3%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	30	1.7	63	41	2.3	57	53	3.2	58	23	77%	1.5	92%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	74	4.1	53	77	4.4	52	91	5.5	51	17	23%	1.4	34%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	86	4.8	52	101	5.8	53	133	8.1	52	47	55%	3.3	68%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				4	0.2	42	39	2.4	49	35	875%	2.1	937%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				166	9.5	48	169	10.3	47	169	2%	0.8	8%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	42	2.3	45	74	4.2	48	111	6.7	49	69	164%	4.4	188%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 鹿児島県

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は262,417人(-16%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は456人(11%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は343人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は32%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

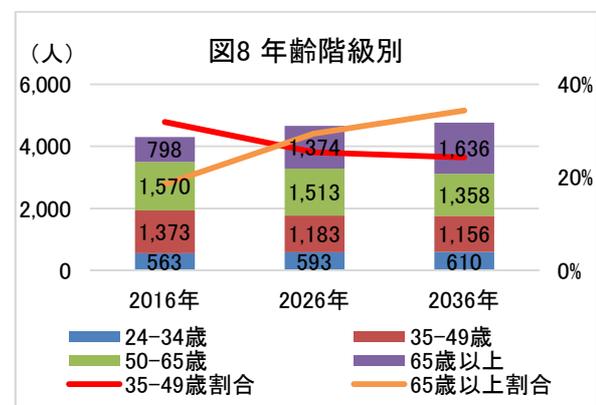
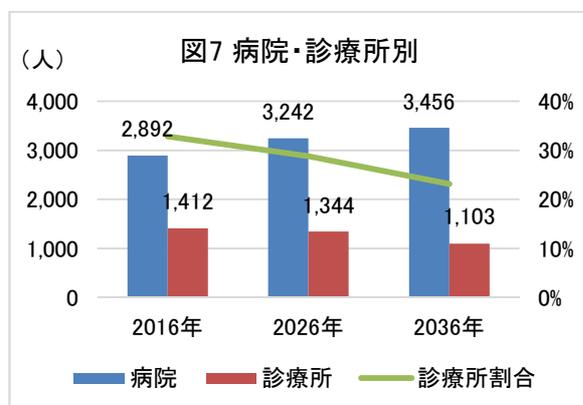
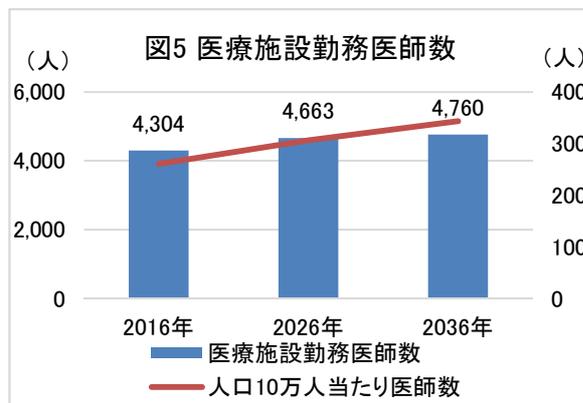
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて29人(1%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に409人(58%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は23%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて564人(20%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に309人(-22%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は23%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は217人(-16%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて838人(105%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年19%、2036年34%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



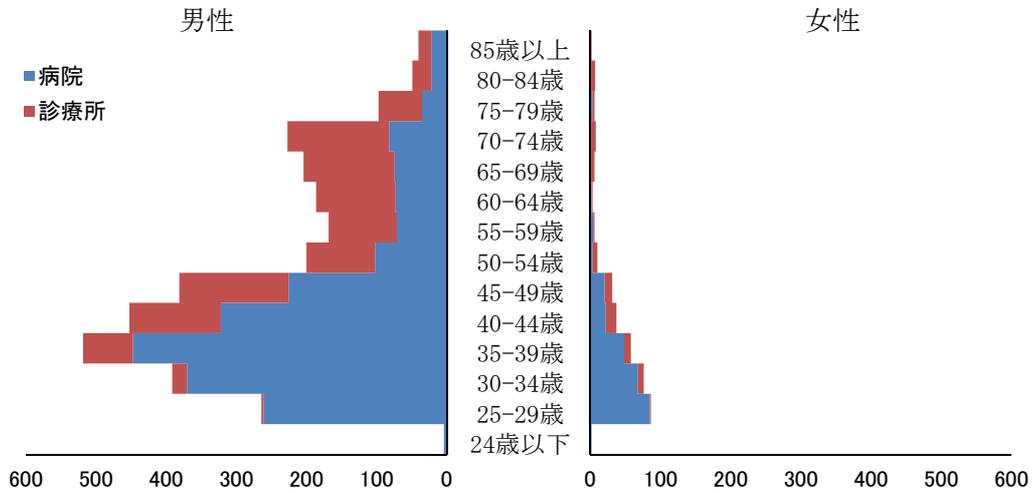
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 鹿児島県

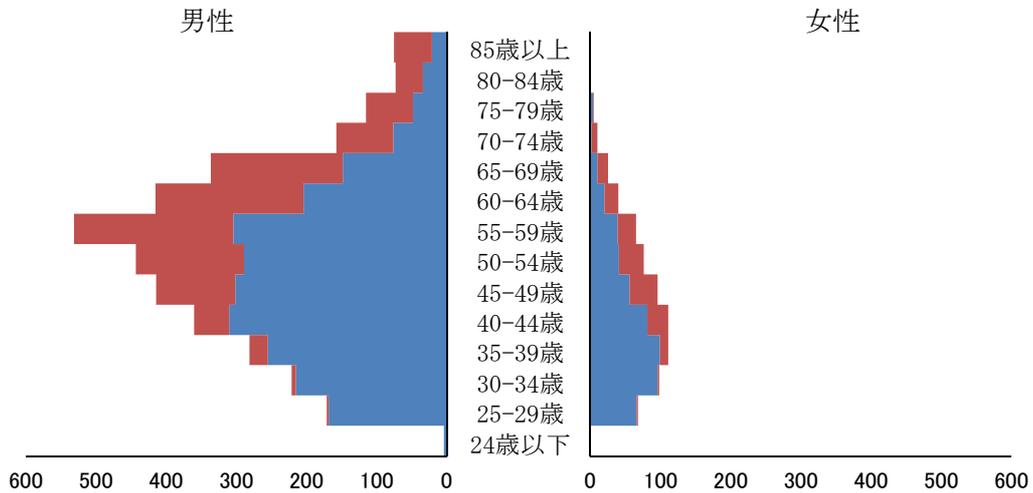
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

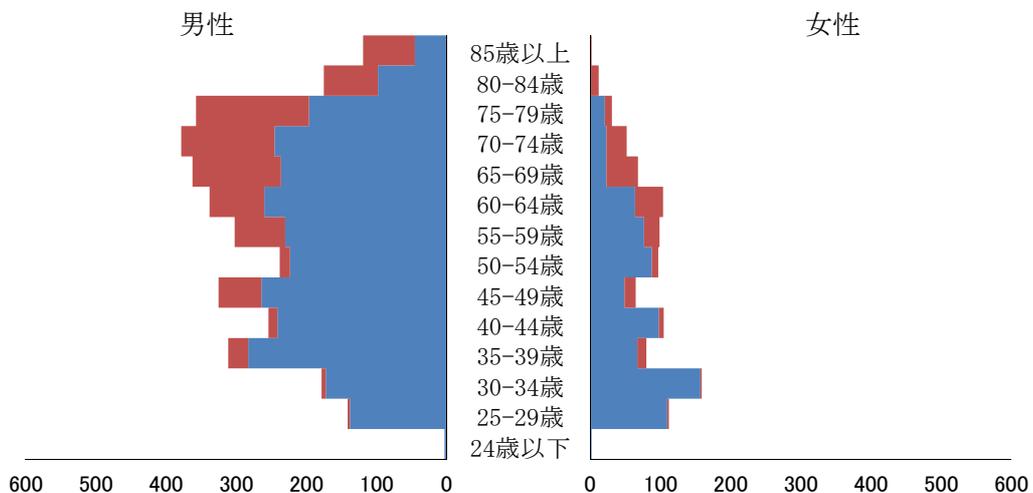
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 鹿児島県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,648,177	1,521,991	1,385,760	-262,417	-16%	-126,186	-8%	-136,231	-9%	
医療施設勤務医師数	4,304	4,663	4,760	456	11%	359	8%	97	2%	
人口10万対	261.1	306.4	343.5	82.4	32%	45.2	17%	37.1	12%	
男性医師数	3,596	3,770	3,625	29	1%	174	5%	-145	-4%	
人口10万対	218.2	247.7	261.6	43.4	20%	29.5	14%	13.9	6%	
女性医師数	708	890	1,117	409	58%	182	26%	227	26%	
人口10万対	43.0	58.5	80.6	37.6	88%	15.5	36%	22.1	38%	
病院勤務医師数	2,892	3,242	3,456	564	20%	350	12%	214	7%	
人口10万対	175.5	213.0	249.4	73.9	42%	37.5	21%	36.4	17%	
診療所勤務医師数	1,412	1,344	1,103	-309	-22%	-68	-5%	-241	-18%	
人口10万対	85.7	88.3	79.6	-6.1	-7%	2.6	3%	-8.7	-10%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	563	593	610	47	8%	30	5%	17	3%
	35-49歳	1,373	1,183	1,156	-217	-16%	-190	-14%	-27	-2%
	50-64歳	1,570	1,513	1,358	-212	-14%	-57	-4%	-155	-10%
	65歳以上	798	1,374	1,636	838	105%	576	72%	262	19%
	75歳以上(再掲)	270	451	748	478	177%	181	67%	297	66%
男性	24-34歳	396	417	322	-74	-19%	21	5%	-95	-23%
	35-49歳	1,055	873	911	-144	-14%	-182	-17%	38	4%
	50-64歳	1,389	1,227	973	-416	-30%	-162	-12%	-254	-21%
	65歳以上	756	1,253	1,419	663	88%	497	66%	166	13%
	75歳以上(再掲)	263	423	678	415	158%	160	61%	255	60%
女性	24-34歳	167	174	273	106	63%	7	4%	99	57%
	35-49歳	318	324	281	-37	-12%	6	2%	-43	-13%
	50-64歳	181	289	380	199	110%	108	60%	91	31%
	65歳以上	42	103	183	141	336%	61	145%	80	78%
	75歳以上(再掲)	7	23	55	48	686%	16	229%	32	139%
病院	24-34歳	550	579	596	46	8%	29	5%	17	3%
	35-49歳	1,102	985	971	-131	-12%	-117	-11%	-14	-1%
	50-64歳	897	991	965	68	8%	94	10%	-26	-3%
	65歳以上	343	687	924	581	169%	344	100%	237	34%
	75歳以上(再掲)	107	195	376	269	251%	88	82%	181	93%
診療所	24-34歳	13	13	13	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	271	147	150	-121	-45%	-124	-46%	3	2%
	50-64歳	673	495	251	-422	-63%	-178	-26%	-244	-49%
	65歳以上	455	689	689	234	51%	234	51%	0	0%
	75歳以上(再掲)	163	246	347	184	113%	83	51%	101	41%
	85歳以上(再掲)	55	51	77	22	40%	-4	-7%	26	51%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 鹿児島医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は4,536人(-1%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は758人(42%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は378人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は43%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

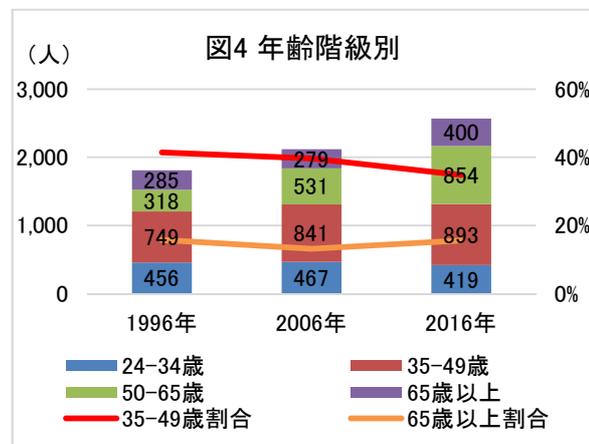
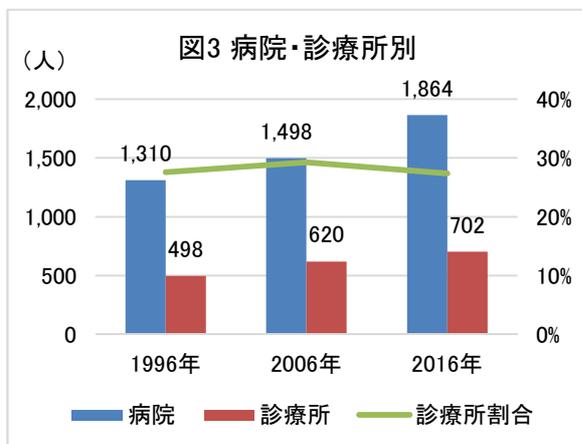
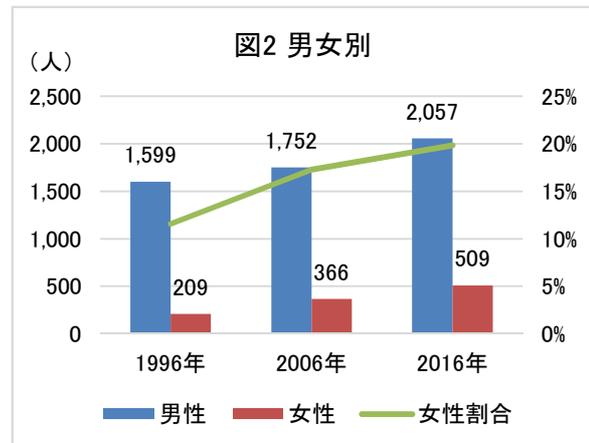
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて458人(29%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に300人(144%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は20%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて554人(42%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に204人(41%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は27%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は144人(19%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて115人(40%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年16%と横ばいである。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 鹿児島医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	684,044	690,906	679,508	-4,536	-1%	6,862	1%	-11,398	-2%	
総医師数	1,893	2,223	2,663	770	41%	330	17%	440	20%	
人口10万対	276.7	321.8	391.9	115.2	42%	45.0	16%	70.1	22%	
医療施設勤務医師数	1,808	2,118	2,566	758	42%	310	17%	448	21%	
人口10万対	264.3	306.6	377.6	113.3	43%	42.2	16%	71.1	23%	
男性医師数	1,599	1,752	2,057	458	29%	153	10%	305	17%	
人口10万対	233.8	253.6	302.7	69.0	30%	19.8	8%	49.1	19%	
女性医師数	209	366	509	300	144%	157	75%	143	39%	
人口10万対	30.6	53.0	74.9	44.4	145%	22.4	73%	21.9	41%	
病院勤務医師数	1,310	1,498	1,864	554	42%	188	14%	366	24%	
人口10万対	191.5	216.8	274.3	82.8	43%	25.3	13%	57.5	27%	
診療所勤務医師数	498	620	702	204	41%	122	24%	82	13%	
人口10万対	72.8	89.7	103.3	30.5	42%	16.9	23%	13.6	15%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.5	47.6	50.3	3.8	8%	1.1	2%	2.7	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	456	467	419	-37	-8%	11	2%	-48	-10%
	35-49歳	749	841	893	144	19%	92	12%	52	6%
	50-64歳	318	531	854	536	169%	213	67%	323	61%
	65歳以上	285	279	400	115	40%	-6	-2%	121	43%
	75歳以上(再掲)	74	113	145	71	96%	39	53%	32	28%
男性	24-34歳	354	308	287	-67	-19%	-46	-13%	-21	-7%
	35-49歳	667	699	664	-3	0%	32	5%	-35	-5%
	50-64歳	306	479	737	431	141%	173	57%	258	54%
	65歳以上	272	266	369	97	36%	-6	-2%	103	39%
	75歳以上(再掲)	71	107	138	67	94%	36	51%	31	29%
女性	24-34歳	102	159	132	30	29%	57	56%	-27	-17%
	35-49歳	82	142	229	147	179%	60	73%	87	61%
	50-64歳	12	52	117	105	875%	40	333%	65	125%
	65歳以上	13	13	31	18	138%	0	0%	18	138%
	75歳以上(再掲)	3	6	7	4	133%	3	100%	1	17%
病院	24-34歳	449	455	416	-33	-7%	6	1%	-39	-9%
	35-49歳	597	643	744	147	25%	46	8%	101	16%
	50-64歳	152	284	525	373	245%	132	87%	241	85%
	65歳以上	112	116	179	67	60%	4	4%	63	54%
	75歳以上(再掲)	34	41	62	28	82%	7	21%	21	51%
診療所	24-34歳	7	12	3	-4	-57%	5	71%	-9	-75%
	35-49歳	152	198	149	-3	-2%	46	30%	-49	-25%
	50-64歳	166	247	329	163	98%	81	49%	82	33%
	65歳以上	173	163	221	48	28%	-10	-6%	58	36%
	75歳以上(再掲)	40	72	83	43	108%	32	80%	11	15%
	85歳以上(再掲)	7	8	24	17	243%	1	14%	16	200%

## 鹿児島医療圏

## ＜医師数の推移＞

鹿児島医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、心臓血管外科、泌尿器科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,808	264.3	60	2,118	306.6	62	2,566	377.6	65	758	42%	113.3	43%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	745	108.9	60	774	112.0	62	960	141.3	67	215	29%	32.4	30%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	88	12.9	54	95	13.8	55	111	16.3	56	23	26%	3.5	27%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	84	12.3	61	113	16.4	65	133	19.6	63	49	58%	7.3	59%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	194	28.4	58	182	26.3	62	211	31.1	66	17	9%	2.7	9%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	13	1.9	73	15	2.2	78	14	2.1	71	1	8%	0.2	8%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	12	1.8	51	25	3.6	59	28	4.1	59	16	133%	2.4	135%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	48	7.0	60	57	8.3	64	67	9.9	66	19	40%	2.8	41%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	135	19.7	64	150	21.7	64	175	25.8	67	40	30%	6.0	30%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	11	1.6	55	15	2.2	55	16	2.4	52	5	45%	0.7	46%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	54	7.9	57	54	7.8	55	65	9.6	57	11	20%	1.7	21%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	68	9.9	53	90	13.0	58	92	13.5	58	24	35%	3.6	36%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	59	8.6	55	59	8.5	55	60	8.8	55	1	2%	0.2	2%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	45	6.6	61	51	7.4	61	69	10.2	68	24	53%	3.6	54%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	110	16.1	64	95	13.8	62	109	16.0	62	-1	-1%	-0.0	0%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	8	1.2	56	13	1.9	54	23	3.4	59	15	188%	2.2	189%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	46	6.7	61	44	6.4	59	62	9.1	61	16	35%	2.4	36%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	61	8.9	65	77	11.1	69	100	14.7	67	39	64%	5.8	65%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				3	0.4	43	30	4.4	59	27	900%	4.0	917%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				142	20.6	61	146	21.5	59	146	3%	0.9	5%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	27	3.9	49	64	9.3	58	95	14.0	62	68	252%	10.0	254%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 鹿児島医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は74,630人(-11%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は647人(25%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は531人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は41%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

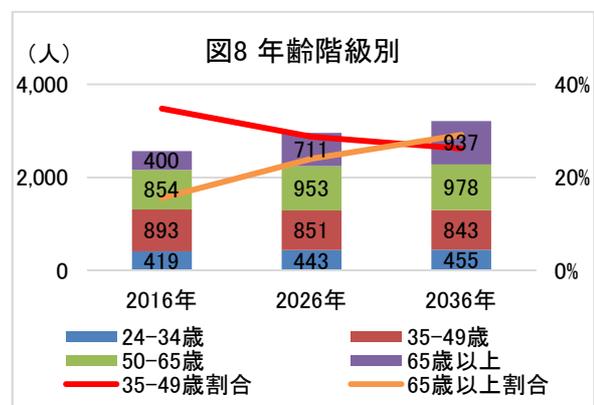
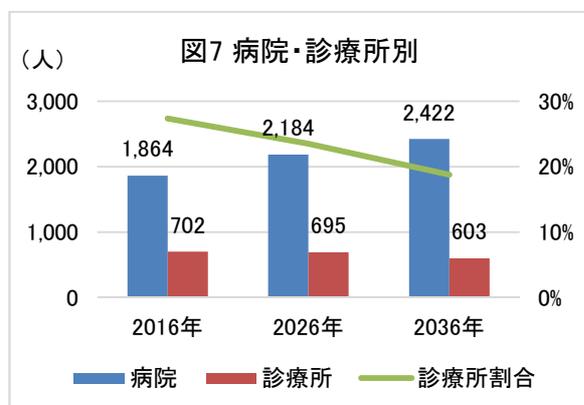
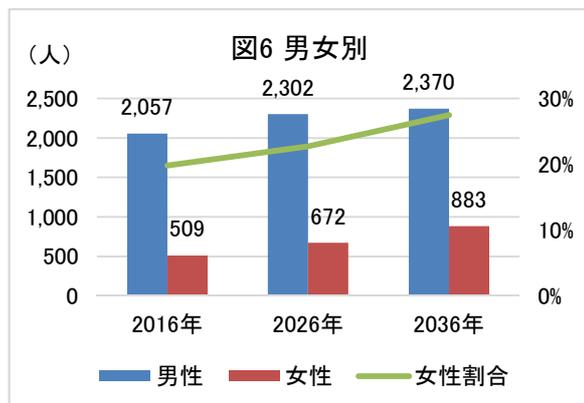
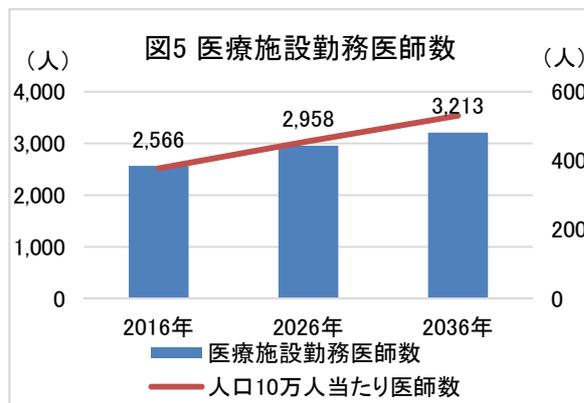
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて313人(15%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に374人(73%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は27%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて558人(30%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に99人(-14%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は19%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は50人(-6%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて537人(134%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年16%、2036年29%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



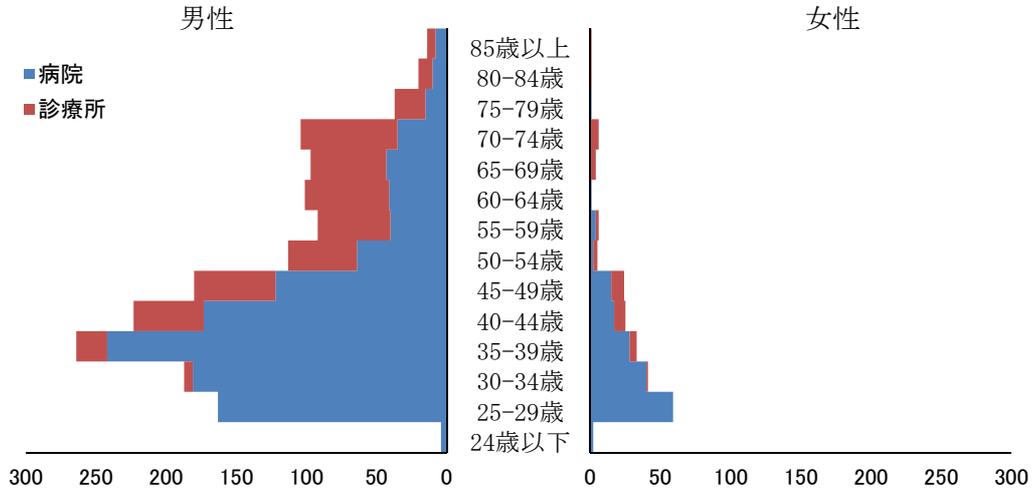
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 鹿児島医療圏

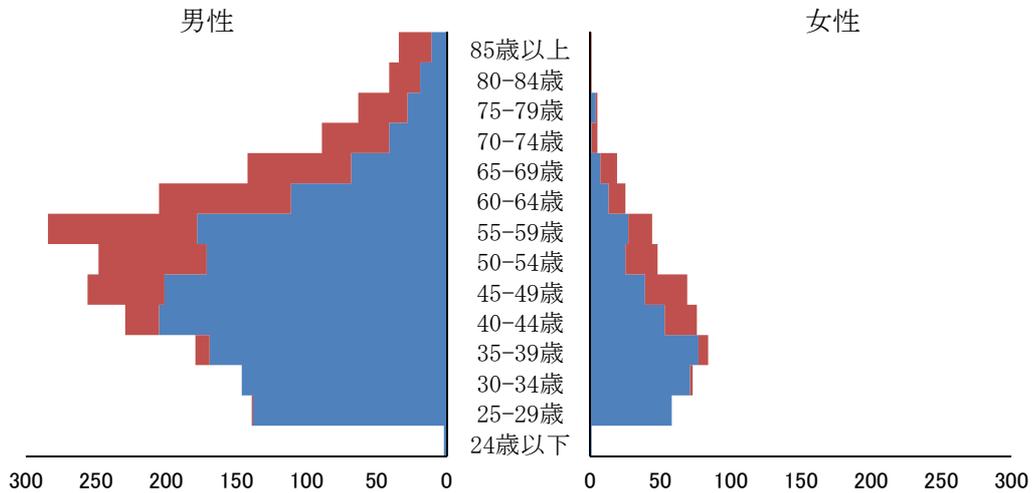
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

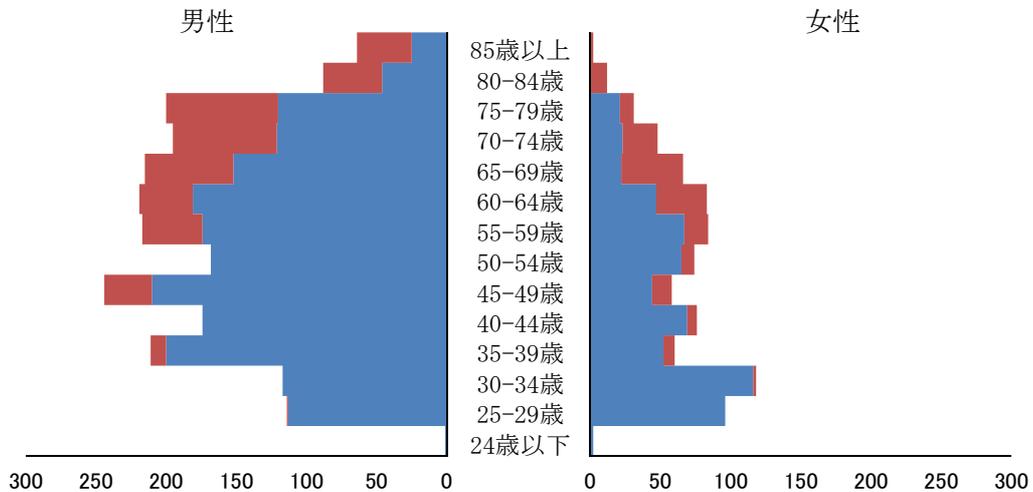
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 鹿児島医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	679,508	648,351	604,878	-74,630	-11%	-31,157	-5%	-43,473	-7%	
医療施設勤務医師数	2,566	2,958	3,213	647	25%	392	15%	255	9%	
人口10万対	377.6	456.2	531.2	153.6	41%	78.6	21%	74.9	16%	
男性医師数	2,057	2,302	2,370	313	15%	245	12%	68	3%	
人口10万対	302.7	355.1	391.8	89.1	29%	52.3	17%	36.8	10%	
女性医師数	509	672	883	374	73%	163	32%	211	31%	
人口10万対	74.9	103.6	146.0	71.1	95%	28.7	38%	42.3	41%	
病院勤務医師数	1,864	2,184	2,422	558	30%	320	17%	238	11%	
人口10万対	274.3	336.9	400.4	126.1	46%	62.5	23%	63.6	19%	
診療所勤務医師数	702	695	603	-99	-14%	-7	-1%	-92	-13%	
人口10万対	103.3	107.2	99.7	-3.6	-4%	3.9	4%	-7.5	-7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	419	443	455	36	9%	24	6%	12	3%
	35-49歳	893	851	843	-50	-6%	-42	-5%	-8	-1%
	50-64歳	854	953	978	124	15%	99	12%	25	3%
	65歳以上	400	711	937	537	134%	311	78%	226	32%
	75歳以上(再掲)	145	225	404	259	179%	80	55%	179	80%
男性	24-34歳	287	304	233	-54	-19%	17	6%	-71	-23%
	35-49歳	664	621	665	1	0%	-43	-6%	44	7%
	50-64歳	737	749	688	-49	-7%	12	2%	-61	-8%
	65歳以上	369	628	784	415	112%	259	70%	156	25%
	75歳以上(再掲)	138	204	355	217	157%	66	48%	151	74%
女性	24-34歳	132	139	217	85	64%	7	5%	78	56%
	35-49歳	229	240	208	-21	-9%	11	5%	-32	-13%
	50-64歳	117	207	293	176	150%	90	77%	86	42%
	65歳以上	31	86	165	134	432%	55	177%	79	92%
	75歳以上(再掲)	7	23	55	48	686%	16	229%	32	139%
病院	24-34歳	416	440	452	36	9%	24	6%	12	3%
	35-49歳	744	730	726	-18	-2%	-14	-2%	-4	-1%
	50-64歳	525	649	712	187	36%	124	24%	63	10%
	65歳以上	179	365	532	353	197%	186	104%	167	46%
	75歳以上(再掲)	62	102	216	154	248%	40	65%	114	112%
診療所	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	149	73	75	-74	-50%	-76	-51%	2	3%
	50-64歳	329	281	144	-185	-56%	-48	-15%	-137	-49%
	65歳以上	221	338	381	160	72%	117	53%	43	13%
	75歳以上(再掲)	83	123	183	100	120%	40	48%	60	49%
	85歳以上(再掲)	24	28	41	17	71%	4	17%	13	46%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 南薩医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は34,138人(-20%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は33人(-10%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は210人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は12%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

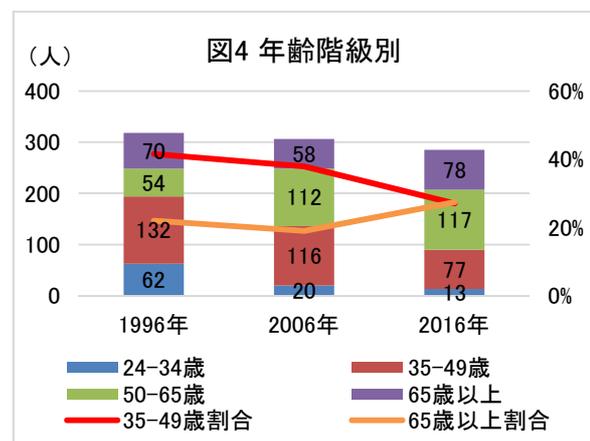
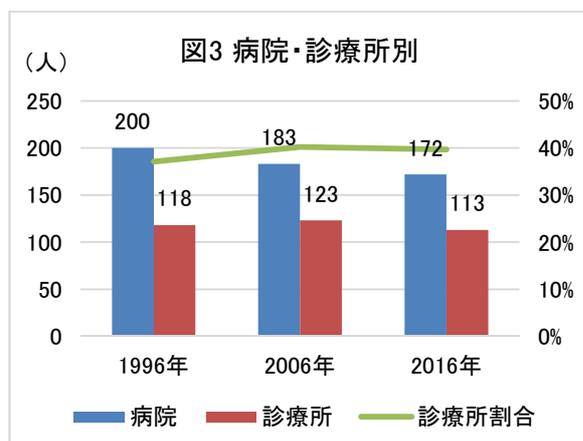
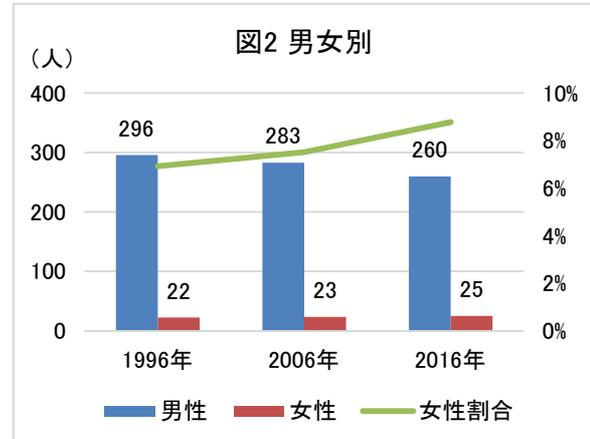
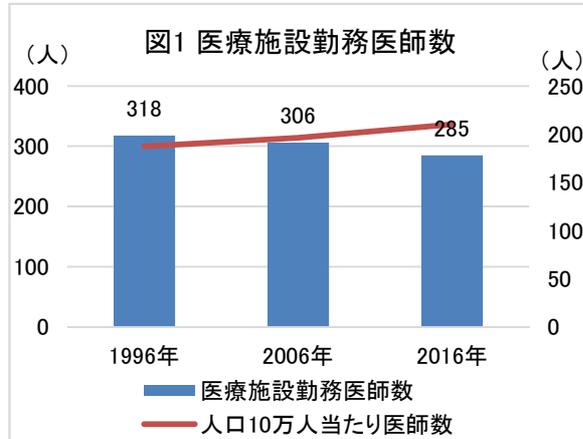
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて36人(-12%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に3人(14%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は9%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて28人(-14%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人(-4%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は40%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は55人(-42%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて8人(11%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年22%、2016年27%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 南薩医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	169,806	155,840	135,668	-34,138	-20%	-13,966	-8%	-20,172	-13%	
総医師数	327	315	289	-38	-12%	-12	-4%	-26	-8%	
人口10万対	192.6	202.1	213.0	20.4	11%	9.6	5%	10.9	5%	
医療施設勤務医師数	318	306	285	-33	-10%	-12	-4%	-21	-7%	
人口10万対	187.3	196.4	210.1	22.8	12%	9.1	5%	13.7	7%	
男性医師数	296	283	260	-36	-12%	-13	-4%	-23	-8%	
人口10万対	174.3	181.6	191.6	17.3	10%	7.3	4%	10.0	6%	
女性医師数	22	23	25	3	14%	1	5%	2	9%	
人口10万対	13.0	14.8	18.4	5.5	42%	1.8	14%	3.7	25%	
病院勤務医師数	200	183	172	-28	-14%	-17	-9%	-11	-6%	
人口10万対	117.8	117.4	126.8	9.0	8%	-0.4	0%	9.4	8%	
診療所勤務医師数	118	123	113	-5	-4%	5	4%	-10	-8%	
人口10万対	69.5	78.9	83.3	13.8	20%	9.4	14%	4.4	6%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.6	53.3	57.3	7.7	15%	3.7	7%	4.0	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	62	20	13	-49	-79%	-42	-68%	-7	-35%
	35-49歳	132	116	77	-55	-42%	-16	-12%	-39	-34%
	50-64歳	54	112	117	63	117%	58	107%	5	4%
	65歳以上	70	58	78	8	11%	-12	-17%	20	34%
	75歳以上(再掲)	22	32	30	8	36%	10	45%	-2	-6%
男性	24-34歳	54	17	9	-45	-83%	-37	-69%	-8	-47%
	35-49歳	120	104	67	-53	-44%	-16	-13%	-37	-36%
	50-64歳	54	104	109	55	102%	50	93%	5	5%
	65歳以上	68	58	75	7	10%	-10	-15%	17	29%
	75歳以上(再掲)	20	32	30	10	50%	12	60%	-2	-6%
女性	24-34歳	8	3	4	-4	-50%	-5	-63%	1	33%
	35-49歳	12	12	10	-2	-17%	0	0%	-2	-17%
	50-64歳	0	8	8	8		8		0	0%
	65歳以上	2	0	3	1	50%	-2	-100%	3	
	75歳以上(再掲)	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
病院	24-34歳	59	19	12	-47	-80%	-40	-68%	-7	-37%
	35-49歳	89	84	53	-36	-40%	-5	-6%	-31	-37%
	50-64歳	26	57	69	43	165%	31	119%	12	21%
	65歳以上	26	23	38	12	46%	-3	-12%	15	65%
	75歳以上(再掲)	7	13	13	6	86%	6	86%	0	0%
診療所	24-34歳	3	1	1	-2	-67%	-2	-67%	0	0%
	35-49歳	43	32	24	-19	-44%	-11	-26%	-8	-25%
	50-64歳	28	55	48	20	71%	27	96%	-7	-13%
	65歳以上	44	35	40	-4	-9%	-9	-20%	5	14%
	75歳以上(再掲)	15	19	17	2	13%	4	27%	-2	-11%
	85歳以上(再掲)	5	3	6	1	20%	-2	-40%	3	100%

## 南薩医療圏

## ＜医師数の推移＞

南薩医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科、整形外科であり、少ない診療科は、小児科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、眼科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	318	187.3	50	306	196.4	49	285	210.1	47	-33	-10%	22.8	12%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	154	90.7	55	153	98.2	57	136	100.2	53	-18	-12%	9.6	11%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	10	5.9	39	9	5.8	37	7	5.2	35	-3	-30%	-0.7	-12%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	26	15.3	68	34	21.8	77	27	19.9	64	1	4%	4.6	30%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	39	23.0	52	24	15.4	46	24	17.7	48	-15	-38%	-5.3	-23%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	9	5.3	53	6	3.9	46	6	4.4	45	-3	-33%	-0.9	-17%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	32	18.8	62	31	19.9	61	27	19.9	56	-5	-16%	1.1	6%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	0.6	46	1	0.6	44	1	0.7	42	0	0%	0.1	25%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	5	2.9	43	4	2.6	39	6	4.4	42	1	20%	1.5	50%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	9	5.3	43	9	5.8	41	8	5.9	39	-1	-11%	0.6	11%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	6	3.5	40	7	4.5	42	7	5.2	43	1	17%	1.6	46%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	2.4	42	5	3.2	43	5	3.7	43	1	25%	1.3	56%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	12	7.1	43	8	5.1	40	7	5.2	39	-5	-42%	-1.9	-27%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	3	1.8	64	2	1.3	49	2	1.5	47	-1	-33%	-0.3	-17%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	3	1.8	45	6	3.9	50	7	5.2	50	4	133%	3.4	192%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	3	1.8	43	4	2.6	43	8	5.9	47	5	167%	4.1	234%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	4	2.9	52	4		2.9	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				2	1.3	38	0	0.0	36	0	-100%	-1.3	-100%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	1.2	43	1	0.6	41	3	2.2	41	1	50%	1.0	88%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 南薩医療圏

## ＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は35,675人(-26%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は82人(-29%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は203人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は-3%減り、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

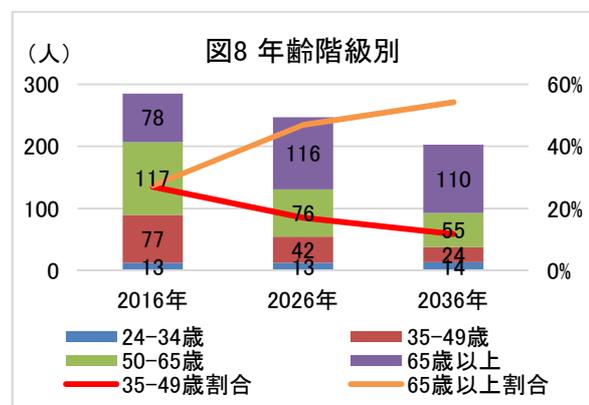
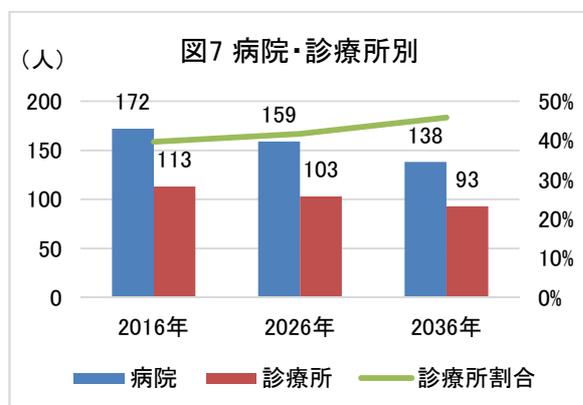
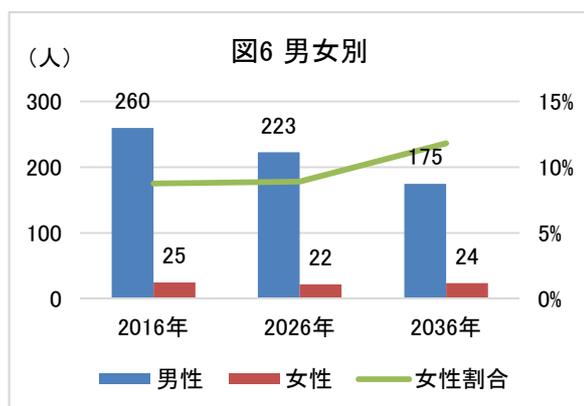
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて85人(-33%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に1人(-4%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は12%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて34人(-20%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に20人(-18%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は46%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は53人(-69%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて32人(41%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年27%、2036年54%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



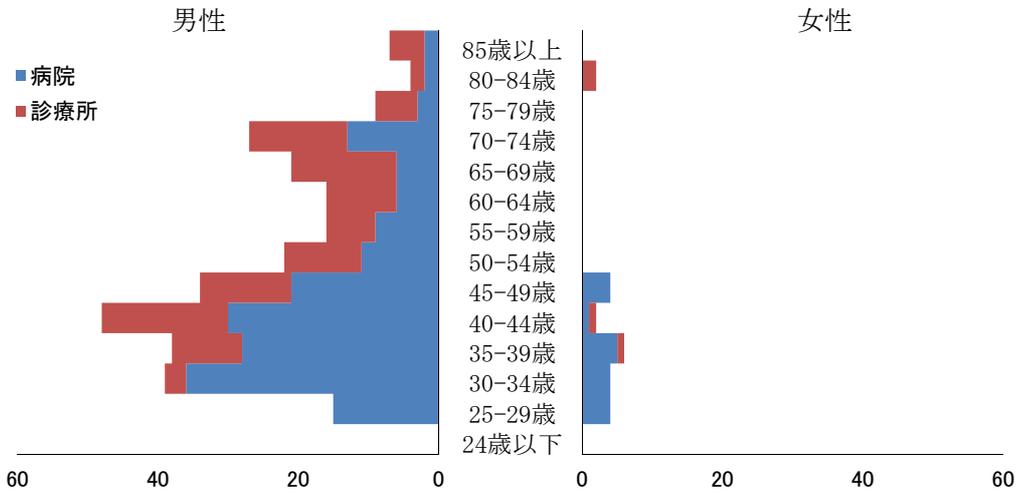
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

南薩医療圏

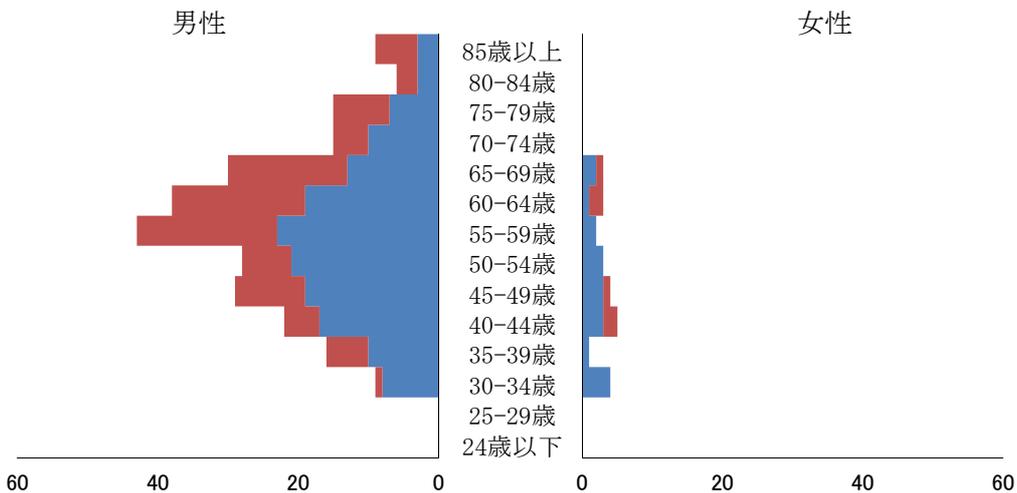
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

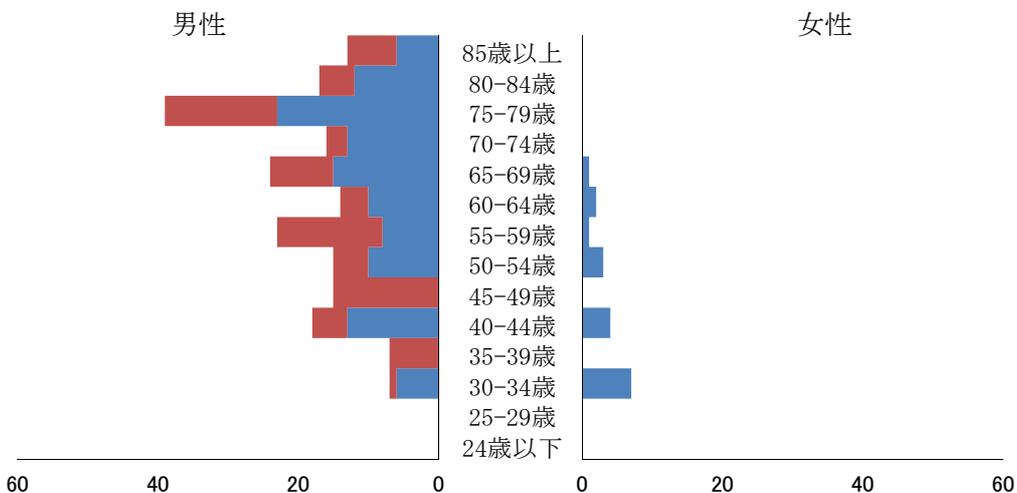
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 南薩医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	135,668	116,902	99,993	-35,675	-26%	-18,766	-14%	-16,909	-14%	
医療施設勤務医師数	285	247	203	-82	-29%	-38	-13%	-44	-18%	
人口10万対	210.1	211.3	203.0	-7.1	-3%	1.2	1%	-8.3	-4%	
男性医師数	260	223	175	-85	-33%	-37	-14%	-48	-22%	
人口10万対	191.6	190.8	175.0	-16.6	-9%	-0.9	0%	-15.7	-8%	
女性医師数	25	22	24	-1	-4%	-3	-12%	2	9%	
人口10万対	18.4	18.8	24.0	5.6	30%	0.4	2%	5.2	28%	
病院勤務医師数	172	159	138	-34	-20%	-13	-8%	-21	-13%	
人口10万対	126.8	136.0	138.0	11.2	9%	9.2	7%	2.0	1%	
診療所勤務医師数	113	103	93	-20	-18%	-10	-9%	-10	-10%	
人口10万対	83.3	88.1	93.0	9.7	12%	4.8	6%	4.9	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	13	13	14	1	8%	0	0%	1	8%
	35-49歳	77	42	24	-53	-69%	-35	-45%	-18	-43%
	50-64歳	117	76	55	-62	-53%	-41	-35%	-21	-28%
	65歳以上	78	116	110	32	41%	38	49%	-6	-5%
	75歳以上(再掲)	30	49	68	38	127%	19	63%	19	39%
男性	24-34歳	9	9	7	-2	-22%	0	0%	-2	-22%
	35-49歳	67	34	17	-50	-75%	-33	-49%	-17	-50%
	50-64歳	109	69	45	-64	-59%	-40	-37%	-24	-35%
	65歳以上	75	111	106	31	41%	36	48%	-5	-5%
	75歳以上(再掲)	30	46	66	36	120%	16	53%	20	43%
女性	24-34歳	4	4	6	2	50%	0	0%	2	50%
	35-49歳	10	9	7	-3	-30%	-1	-10%	-2	-22%
	50-64歳	8	8	10	2	25%	0	0%	2	25%
	65歳以上	3	1	1	-2	-67%	-2	-67%	0	0%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	12	12	13	1	8%	0	0%	1	8%
	35-49歳	53	27	18	-35	-66%	-26	-49%	-9	-33%
	50-64歳	69	53	34	-35	-51%	-16	-23%	-19	-36%
	65歳以上	38	67	73	35	92%	29	76%	6	9%
	75歳以上(再掲)	13	29	43	30	231%	16	123%	14	48%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	24	26	27	3	13%	2	8%	1	4%
	50-64歳	48	24	26	-22	-46%	-24	-50%	2	8%
	65歳以上	40	52	39	-1	-3%	12	30%	-13	-25%
	75歳以上(再掲)	17	23	27	10	59%	6	35%	4	17%
	85歳以上(再掲)	6	5	7	1	17%	-1	-17%	2	40%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 川薩医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は16,402人(-12%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は18人(8%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は209人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は23%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

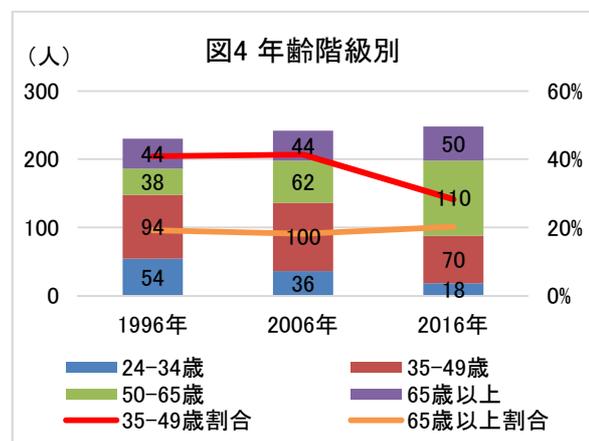
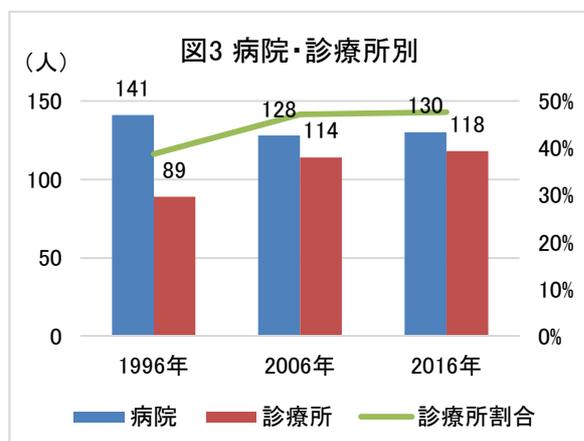
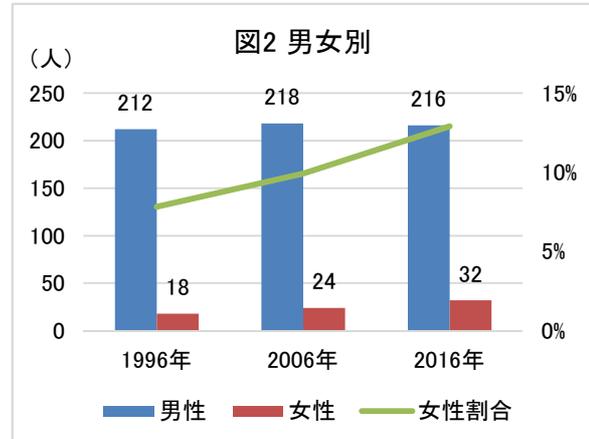
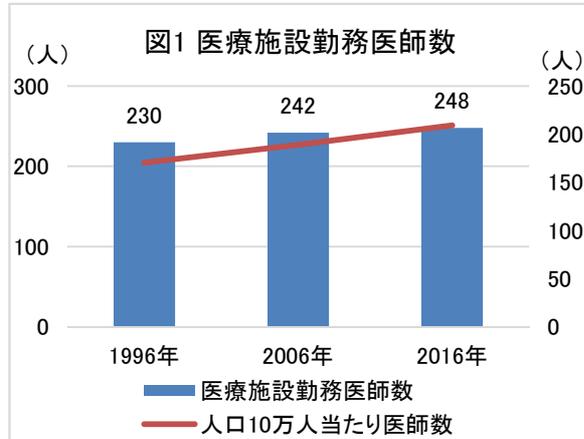
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて4人(2%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に14人(78%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は13%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて11人(-8%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に29人(33%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は48%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は24人(-26%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて6人(14%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年19%、2016年20%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 川薩医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	134,878	128,058	118,476	-16,402	-12%	-6,820	-5%	-9,582	-7%	
総医師数	238	252	256	18	8%	14	6%	4	2%	
人口10万対	176.5	196.8	216.1	39.6	22%	20.3	12%	19.3	10%	
医療施設勤務医師数	230	242	248	18	8%	12	5%	6	2%	
人口10万対	170.5	189.0	209.3	38.8	23%	18.5	11%	20.3	11%	
男性医師数	212	218	216	4	2%	6	3%	-2	-1%	
人口10万対	157.2	170.2	182.3	25.1	16%	13.1	8%	12.1	7%	
女性医師数	18	24	32	14	78%	6	33%	8	33%	
人口10万対	13.3	18.7	27.0	13.7	102%	5.4	40%	8.3	44%	
病院勤務医師数	141	128	130	-11	-8%	-13	-9%	2	2%	
人口10万対	104.5	100.0	109.7	5.2	5%	-4.6	-4%	9.8	10%	
診療所勤務医師数	89	114	118	29	33%	25	28%	4	4%	
人口10万対	66.0	89.0	99.6	33.6	51%	23.0	35%	10.6	12%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.1	50.4	54.7	6.6	14%	2.3	5%	4.2	8%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	54	36	18	-36	-67%	-18	-33%	-18	-50%
	35-49歳	94	100	70	-24	-26%	6	6%	-30	-30%
	50-64歳	38	62	110	72	189%	24	63%	48	77%
	65歳以上	44	44	50	6	14%	0	0%	6	14%
	75歳以上(再掲)	21	23	19	-2	-10%	2	10%	-4	-17%
男性	24-34歳	45	27	11	-34	-76%	-18	-40%	-16	-59%
	35-49歳	88	87	55	-33	-38%	-1	-1%	-32	-37%
	50-64歳	38	60	100	62	163%	22	58%	40	67%
	65歳以上	41	44	50	9	22%	3	7%	6	14%
	75歳以上(再掲)	19	23	19	0	0%	4	21%	-4	-17%
女性	24-34歳	9	9	7	-2	-22%	0	0%	-2	-22%
	35-49歳	6	13	15	9	150%	7	117%	2	15%
	50-64歳	0	2	10	10		2		8	400%
	65歳以上	3	0	0	-3	-100%	-3	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
病院	24-34歳	50	32	17	-33	-66%	-18	-36%	-15	-47%
	35-49歳	59	58	49	-10	-17%	-1	-2%	-9	-16%
	50-64歳	13	24	52	39	300%	11	85%	28	117%
	65歳以上	19	14	12	-7	-37%	-5	-26%	-2	-14%
	75歳以上(再掲)	12	7	4	-8	-67%	-5	-42%	-3	-43%
診療所	24-34歳	4	4	1	-3	-75%	0	0%	-3	-75%
	35-49歳	35	42	21	-14	-40%	7	20%	-21	-50%
	50-64歳	25	38	58	33	132%	13	52%	20	53%
	65歳以上	25	30	38	13	52%	5	20%	8	27%
	75歳以上(再掲)	9	16	15	6	67%	7	78%	-1	-6%
	85歳以上(再掲)	0	2	5	5		2		3	150%

## 川薩医療圏

## ＜医師数の推移＞

川薩医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科、整形外科であり、少ない診療科は、小児科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、眼科、産婦人科(総数)、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児科、外科(総数)、リハビリテーション科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、整形外科、眼科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	230	170.5	48	242	189.0	48	248	209.3	47	18	8%	38.8	23%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	113	83.8	53	107	83.6	52	118	99.6	53	5	4%	15.8	19%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	10	7.4	42	11	8.6	43	9	7.6	39	-1	-10%	0.2	2%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	11	8.2	50	13	10.2	51	18	15.2	55	7	64%	7.0	86%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.0	-9%
	当該地域	29	21.5	51	25	19.5	52	21	17.7	48	-8	-28%	-3.8	-18%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.7	55	1	0.8	55	1	0.8	53	0	0%	0.1	14%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	4	3.0	44	5	3.9	46	5	4.2	44	1	25%	1.3	42%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	15	11.1	46	21	16.4	53	24	20.3	57	9	60%	9.1	82%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	5	3.7	45	10	7.8	55	6	5.1	44	1	20%	1.4	37%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	6	4.4	41	8	6.2	42	9	7.6	43	3	50%	3.1	71%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	8	5.9	47	7	5.5	45	8	6.8	48	0	0%	0.8	14%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	5	3.7	48	6	4.7	49	7	5.9	51	2	40%	2.2	59%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	9	6.7	43	7	5.5	40	9	7.6	44	0	0%	0.9	14%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	5	3.7	90	2	1.6	51	3	2.5	54	-2	-40%	-1.2	-32%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	4	3.0	49	6	4.7	53	4	3.4	45	0	0%	0.4	14%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	3	2.2	45	5	3.9	47	4	3.4	41	1	33%	1.2	52%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				2	1.6	39	0	0.0	36	0	-100%	-1.6	-100%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	1.5	43	6	4.7	49	2	1.7	40	0	0%	0.2	14%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 川薩医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は20,564人(-17%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は31人(-13%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は222人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は6%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

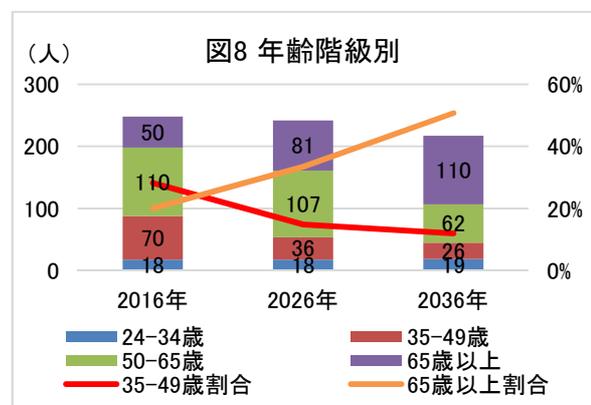
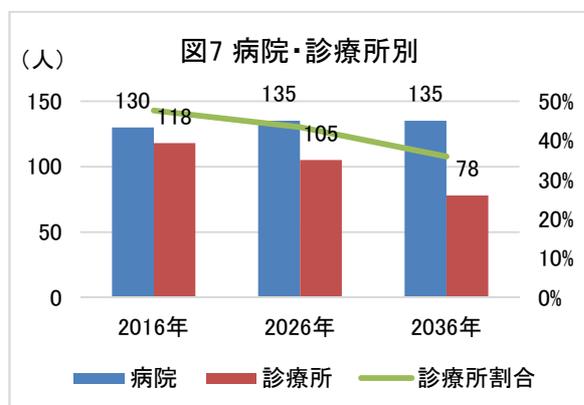
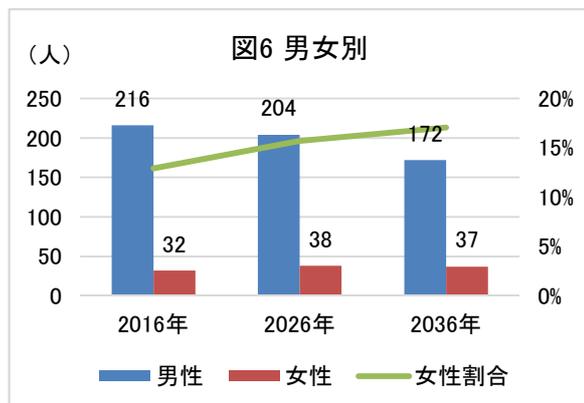
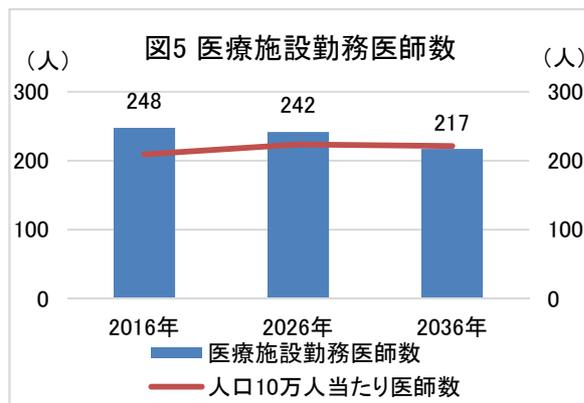
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて44人(-20%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に5人(16%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は17%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて5人(4%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に40人(-34%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は36%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は44人(-63%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて60人(120%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年20%、2036年51%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



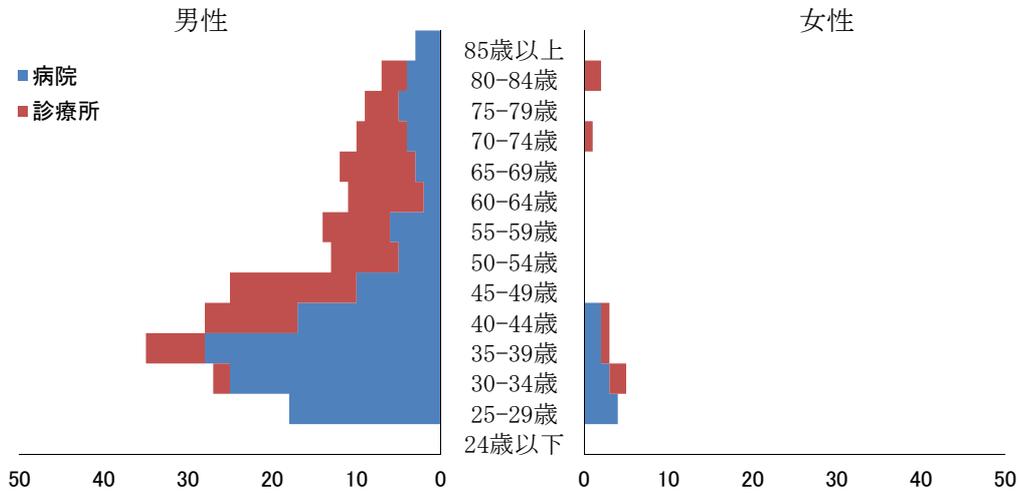
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 川薩医療圏

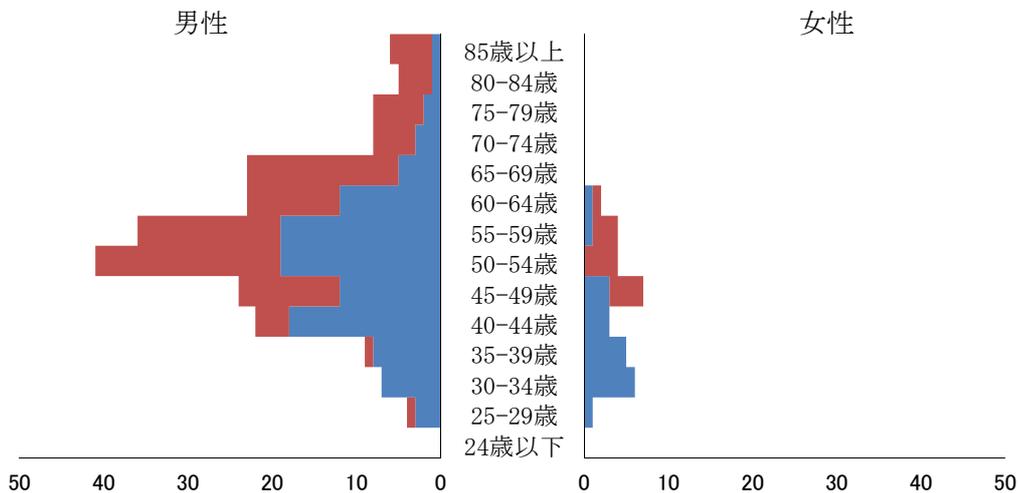
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

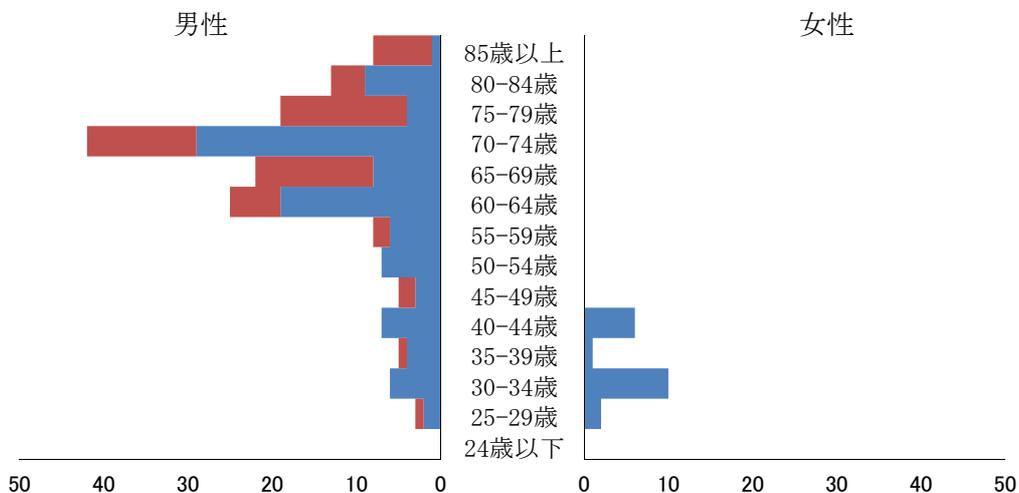
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 川薩医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	118,476	108,078	97,912	-20,564	-17%	-10,398	-9%	-10,166	-9%	
医療施設勤務医師数	248	242	217	-31	-13%	-6	-2%	-25	-10%	
人口10万対	209.3	223.9	221.6	12.3	6%	14.6	7%	-2.3	-1%	
男性医師数	216	204	172	-44	-20%	-12	-6%	-32	-16%	
人口10万対	182.3	188.8	175.7	-6.6	-4%	6.4	4%	-13.1	-7%	
女性医師数	32	38	37	5	16%	6	19%	-1	-3%	
人口10万対	27.0	35.2	37.8	10.8	40%	8.2	30%	2.6	7%	
病院勤務医師数	130	135	135	5	4%	5	4%	0	0%	
人口10万対	109.7	124.9	137.9	28.2	26%	15.2	14%	13.0	10%	
診療所勤務医師数	118	105	78	-40	-34%	-13	-11%	-27	-26%	
人口10万対	99.6	97.2	79.7	-19.9	-20%	-2.4	-2%	-17.5	-18%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	18	18	19	1	6%	0	0%	1	6%
	35-49歳	70	36	26	-44	-63%	-34	-49%	-10	-28%
	50-64歳	110	107	62	-48	-44%	-3	-3%	-45	-42%
	65歳以上	50	81	110	60	120%	31	62%	29	36%
	75歳以上(再掲)	19	24	42	23	121%	5	26%	18	75%
男性	24-34歳	11	11	9	-2	-18%	0	0%	-2	-18%
	35-49歳	55	22	19	-36	-65%	-33	-60%	-3	-14%
	50-64歳	100	95	47	-53	-53%	-5	-5%	-48	-51%
	65歳以上	50	76	97	47	94%	26	52%	21	28%
	75歳以上(再掲)	19	24	38	19	100%	5	26%	14	58%
女性	24-34歳	7	7	12	5	71%	0	0%	5	71%
	35-49歳	15	18	8	-7	-47%	3	20%	-10	-56%
	50-64歳	10	13	17	7	70%	3	30%	4	31%
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	17	17	18	1	6%	0	0%	1	6%
	35-49歳	49	28	23	-26	-53%	-21	-43%	-5	-18%
	50-64歳	52	54	41	-11	-21%	2	4%	-13	-24%
	65歳以上	12	36	53	41	342%	24	200%	17	47%
	75歳以上(再掲)	4	5	15	11	275%	1	25%	10	200%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	21	3	3	-18	-86%	-18	-86%	0	0%
	50-64歳	58	48	8	-50	-86%	-10	-17%	-40	-83%
	65歳以上	38	53	66	28	74%	15	39%	13	25%
	75歳以上(再掲)	15	23	30	15	100%	8	53%	7	30%
	85歳以上(再掲)	5	5	7	2	40%	0	0%	2	40%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 出水医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は13,959人(-14%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は19人(-13%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は156人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は2%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

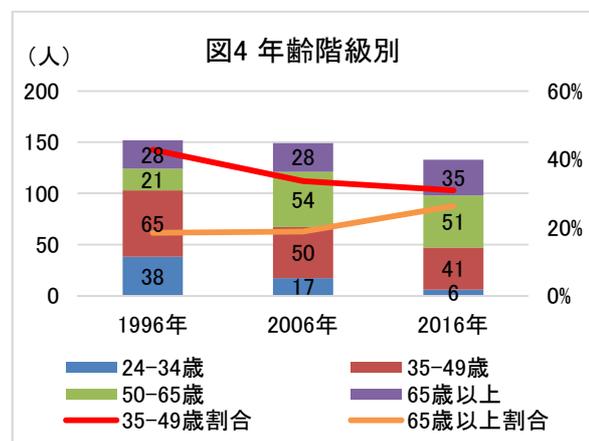
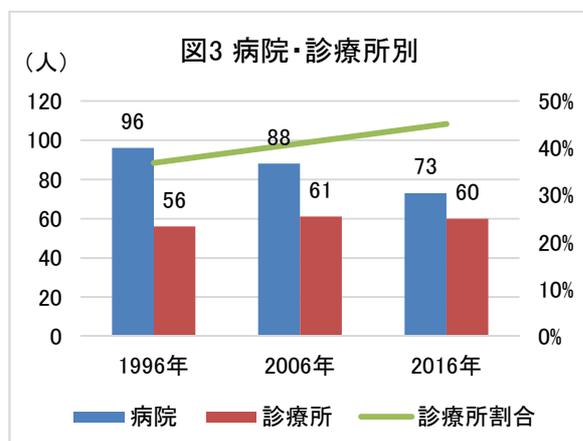
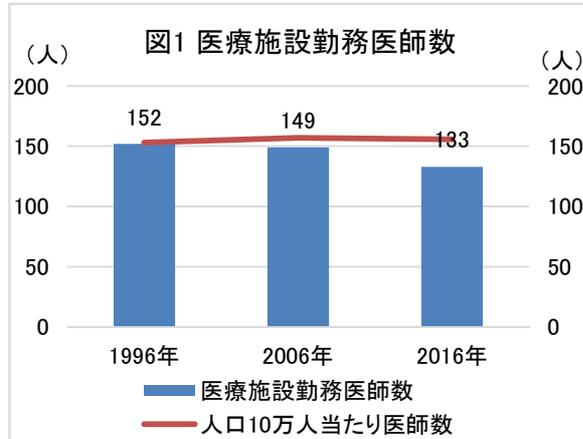
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて17人(-12%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(-18%)減り、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は7%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて23人(-24%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に4人(7%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は45%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は24人(-37%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて7人(25%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年18%、2016年26%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 出水医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	99,346	94,937	85,387	-13,959	-14%	-4,409	-4%	-9,550	-10%	
総医師数	156	157	138	-18	-12%	1	1%	-19	-12%	
人口10万対	157.0	165.4	161.6	4.6	3%	8.3	5%	-3.8	-2%	
医療施設勤務医師数	152	149	133	-19	-13%	-3	-2%	-16	-11%	
人口10万対	153.0	156.9	155.8	2.8	2%	3.9	3%	-1.2	-1%	
男性医師数	141	139	124	-17	-12%	-2	-1%	-15	-11%	
人口10万対	141.9	146.4	145.2	3.3	2%	4.5	3%	-1.2	-1%	
女性医師数	11	10	9	-2	-18%	-1	-9%	-1	-10%	
人口10万対	11.1	10.5	10.5	-0.5	-5%	-0.5	-5%	0.0	0%	
病院勤務医師数	96	88	73	-23	-24%	-8	-8%	-15	-17%	
人口10万対	96.6	92.7	85.5	-11.1	-12%	-3.9	-4%	-7.2	-8%	
診療所勤務医師数	56	61	60	4	7%	5	9%	-1	-2%	
人口10万対	56.4	64.3	70.3	13.9	25%	7.9	14%	6.0	9%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.3	52.2	55.9	8.6	18%	4.9	10%	3.7	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	38	17	6	-32	-84%	-21	-55%	-11	-65%
	35-49歳	65	50	41	-24	-37%	-15	-23%	-9	-18%
	50-64歳	21	54	51	30	143%	33	157%	-3	-6%
	65歳以上	28	28	35	7	25%	0	0%	7	25%
	75歳以上(再掲)	14	14	10	-4	-29%	0	0%	-4	-29%
男性	24-34歳	32	16	5	-27	-84%	-16	-50%	-11	-69%
	35-49歳	63	44	35	-28	-44%	-19	-30%	-9	-20%
	50-64歳	21	52	49	28	133%	31	148%	-3	-6%
	65歳以上	25	27	35	10	40%	2	8%	8	30%
	75歳以上(再掲)	11	13	10	-1	-9%	2	18%	-3	-23%
女性	24-34歳	6	1	1	-5	-83%	-5	-83%	0	0%
	35-49歳	2	6	6	4	200%	4	200%	0	0%
	50-64歳	0	2	2	2		2		0	0%
	65歳以上	3	1	0	-3	-100%	-2	-67%	-1	-100%
	75歳以上(再掲)	3	1	0	-3	-100%	-2	-67%	-1	-100%
病院	24-34歳	38	17	6	-32	-84%	-21	-55%	-11	-65%
	35-49歳	40	34	32	-8	-20%	-6	-15%	-2	-6%
	50-64歳	8	26	21	13	163%	18	225%	-5	-19%
	65歳以上	10	11	14	4	40%	1	10%	3	27%
	75歳以上(再掲)	5	6	2	-3	-60%	1	20%	-4	-67%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	25	16	9	-16	-64%	-9	-36%	-7	-44%
	50-64歳	13	28	30	17	131%	15	115%	2	7%
	65歳以上	18	17	21	3	17%	-1	-6%	4	24%
	75歳以上(再掲)	9	8	8	-1	-11%	-1	-11%	0	0%
	85歳以上(再掲)	3	4	2	-1	-33%	1	33%	-2	-50%

## 出水医療圏

## ＜医師数の推移＞

出水医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、泌尿器科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、精神科、外科(総数)、小児外科、産婦人科(総数)、麻酔科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児科、眼科、泌尿器科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	152	153.0	46	149	156.9	44	133	155.8	41	-19	-13%	2.8	2%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	71	71.5	49	71	74.8	49	61	71.4	44	-10	-14%	-0.0	0%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	4	4.0	35	7	7.4	41	7	8.2	41	3	75%	4.2	104%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	11	11.1	58	11	11.6	54	10	11.7	49	-1	-9%	0.6	6%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	21	21.1	50	13	13.7	44	12	14.1	43	-9	-43%	-7.1	-34%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	2	2.0	75	0	0.0	41	0	0.0	41	-2	-100%	-2.0	-100%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0.0	0.0	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	4	4.0	48	5	5.3	52	5	5.9	50	1	25%	1.8	45%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	9	9.1	42	10	10.5	41	9	10.5	38	0	0%	1.5	16%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	0.0	0.0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	2.0	40	2	2.1	38	2	2.3	37	0	0%	0.3	16%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	4	4.0	40	6	6.3	42	6	7.0	42	2	50%	3.0	75%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	5	5.0	44	4	4.2	41	5	5.9	45	0	0%	0.8	16%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	4.0	50	7	7.4	61	6	7.0	56	2	50%	3.0	75%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	7	7.0	43	5	5.3	40	4	4.7	38	-3	-43%	-2.4	-34%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0.0	0.0	0.0
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	2	2.0	46	3	3.2	48	2	2.3	42	0	0%	0.3	16%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	4	4.0	50	4	4.2	48	3	3.5	42	-1	-25%	-0.5	-13%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				1	1.1	38	0	0.0	36	0	-100%	-1.1	-100%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	2.0	45	0	0.0	40	1	1.2	39	-1	-50%	-0.8	-42%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 出水医療圏

## ＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は19,569人(-23%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は51人(-38%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は125人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は-20%減り、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

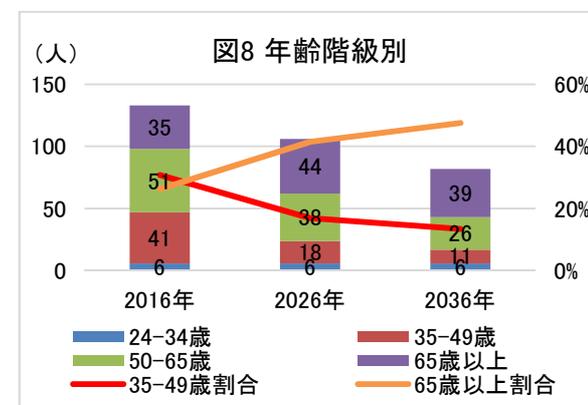
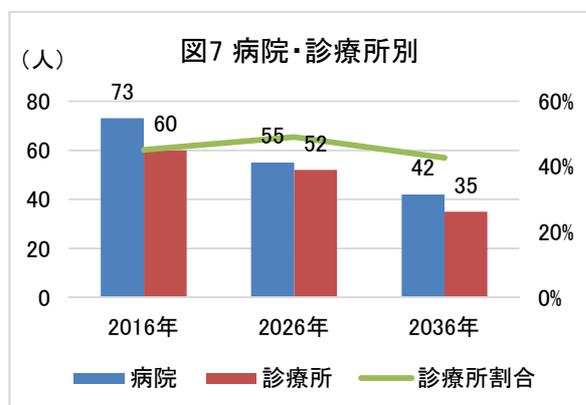
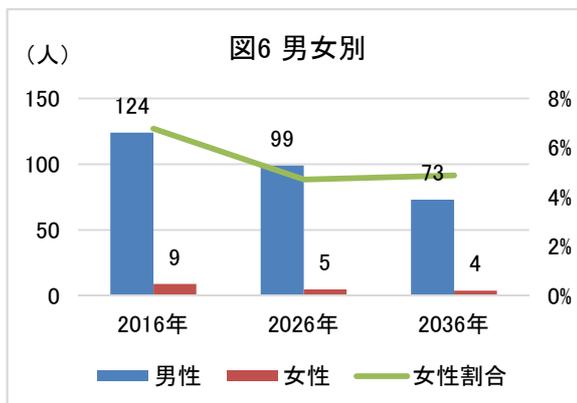
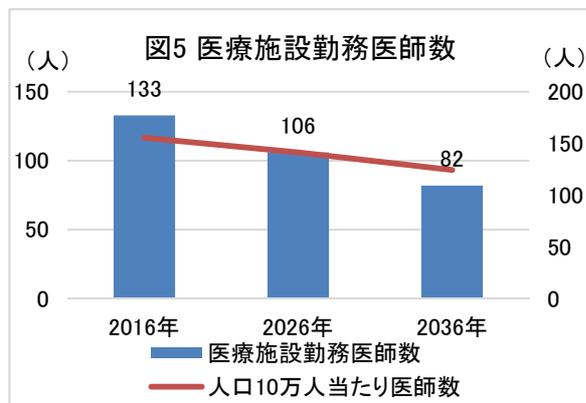
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて51人(-41%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に5人(-56%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は5%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて31人(-42%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に25人(-42%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は43%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は30人(-73%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて4人(11%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年26%、2036年48%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



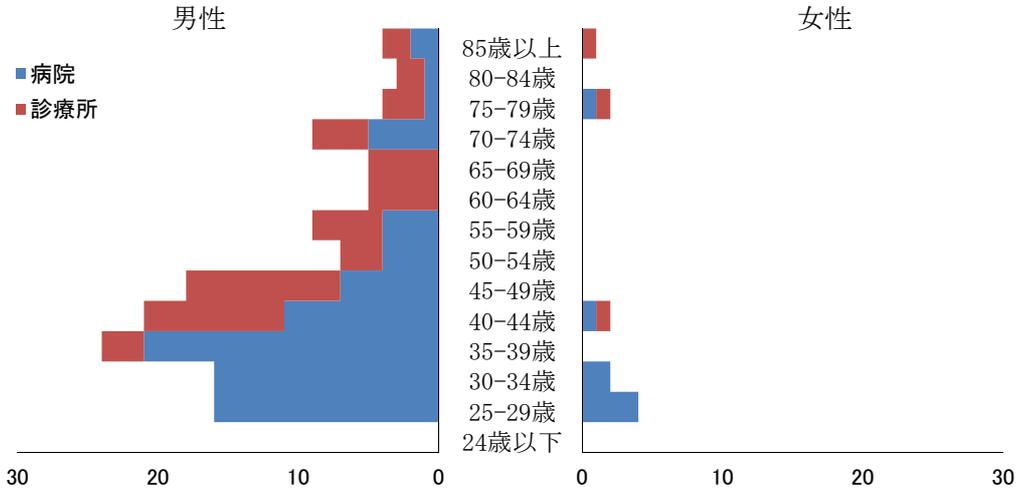
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 出水医療圏

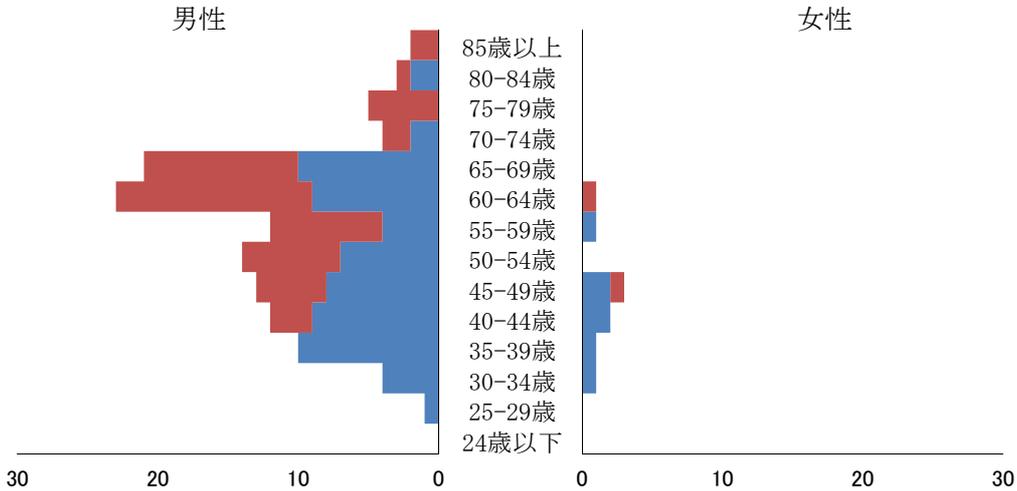
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

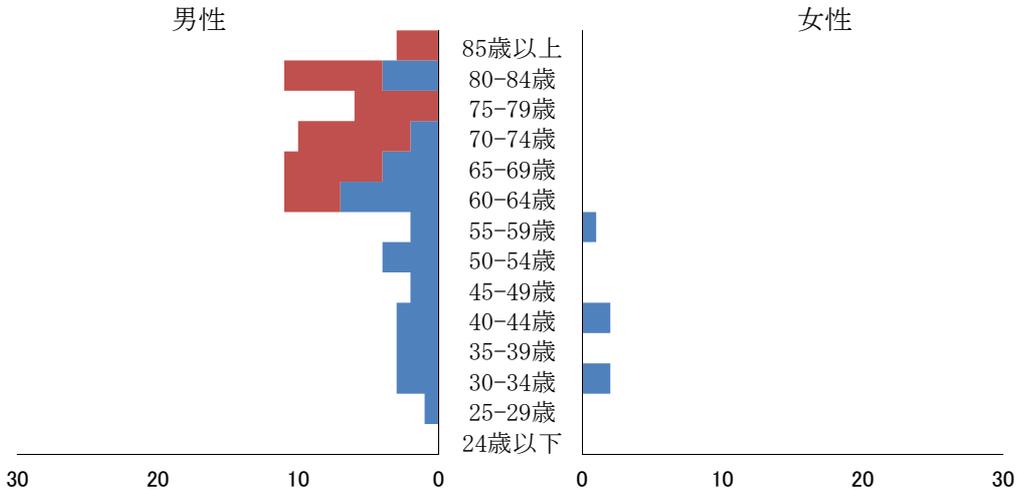
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 出水医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	85,387	75,032	65,818	-19,569	-23%	-10,355	-12%	-9,214	-12%	
医療施設勤務医師数	133	106	82	-51	-38%	-27	-20%	-24	-23%	
人口10万対	155.8	141.3	124.6	-31.2	-20%	-14.5	-9%	-16.7	-12%	
男性医師数	124	99	73	-51	-41%	-25	-20%	-26	-26%	
人口10万対	145.2	131.9	110.9	-34.3	-24%	-13.3	-9%	-21.0	-16%	
女性医師数	9	5	4	-5	-56%	-4	-44%	-1	-20%	
人口10万対	10.5	6.7	6.1	-4.5	-42%	-3.9	-37%	-0.6	-9%	
病院勤務医師数	73	55	42	-31	-42%	-18	-25%	-13	-24%	
人口10万対	85.5	73.3	63.8	-21.7	-25%	-12.2	-14%	-9.5	-13%	
診療所勤務医師数	60	52	35	-25	-42%	-8	-13%	-17	-33%	
人口10万対	70.3	69.3	53.2	-17.1	-24%	-1.0	-1%	-16.1	-23%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	6	6	6	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	41	18	11	-30	-73%	-23	-56%	-7	-39%
	50-64歳	51	38	26	-25	-49%	-13	-25%	-12	-32%
	65歳以上	35	44	39	4	11%	9	26%	-5	-11%
	75歳以上(再掲)	10	15	20	10	100%	5	50%	5	33%
男性	24-34歳	5	5	4	-1	-20%	0	0%	-1	-20%
	35-49歳	35	16	9	-26	-74%	-19	-54%	-7	-44%
	50-64歳	49	35	23	-26	-53%	-14	-29%	-12	-34%
	65歳以上	35	43	37	2	6%	8	23%	-6	-14%
	75歳以上(再掲)	10	16	19	9	90%	6	60%	3	19%
女性	24-34歳	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%
	35-49歳	6	3	2	-4	-67%	-3	-50%	-1	-33%
	50-64歳	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	6	6	6	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	32	14	9	-23	-72%	-18	-56%	-5	-36%
	50-64歳	21	22	16	-5	-24%	1	5%	-6	-27%
	65歳以上	14	13	11	-3	-21%	-1	-7%	-2	-15%
	75歳以上(再掲)	2	2	4	2	100%	0	0%	2	100%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	9	0	0	-9	-100%	-9	-100%	0	
	50-64歳	30	18	4	-26	-87%	-12	-40%	-14	-78%
	65歳以上	21	34	31	10	48%	13	62%	-3	-9%
	75歳以上(再掲)	8	11	17	9	113%	3	38%	6	55%
	85歳以上(再掲)	2	2	3	1	50%	0	0%	1	50%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 始良・伊佐医療圏

## ＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は4,418人(-2%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は57人(14%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は192人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は16%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

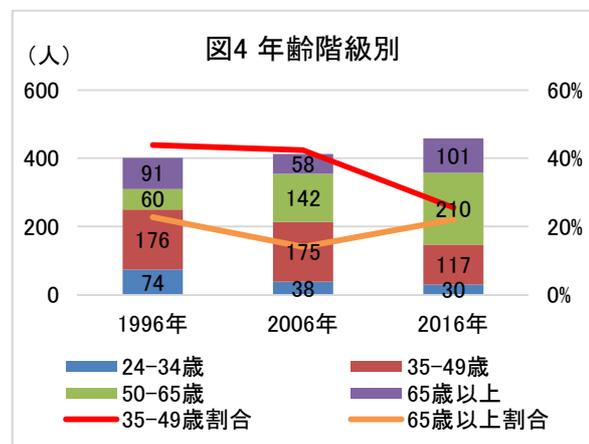
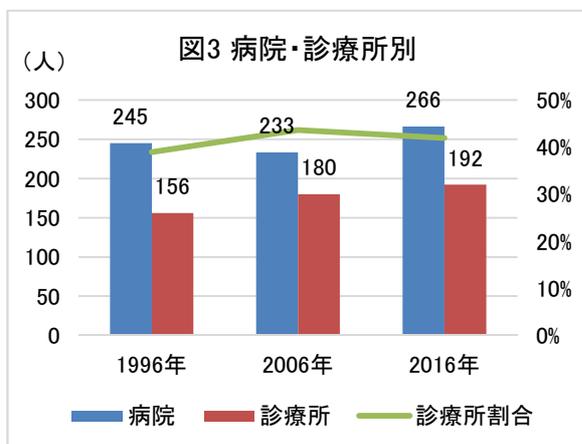
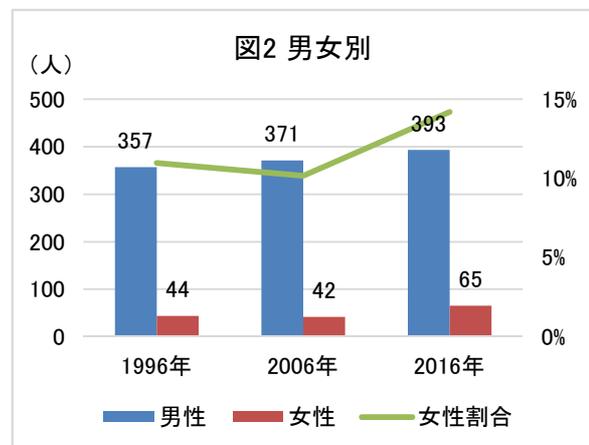
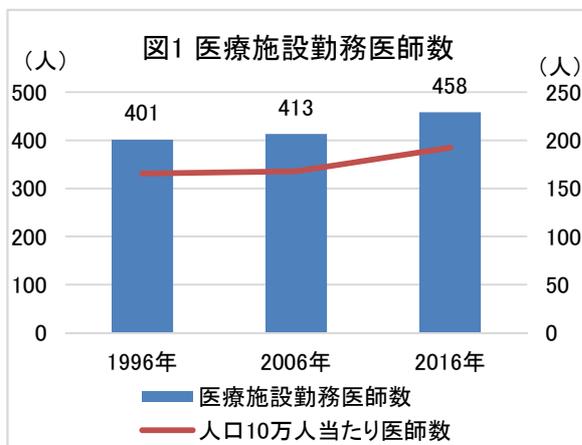
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて36人(10%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に21人(48%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は14%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて21人(9%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に36人(23%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は42%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は59人(-34%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて10人(11%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年23%、2016年22%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 始良・伊佐医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	242,585	246,214	238,167	-4,418	-2%	3,629	1%	-8,047	-3%	
総医師数	411	422	473	62	15%	11	3%	51	12%	
人口10万対	169.4	171.4	198.6	29.2	17%	2.0	1%	27.2	16%	
医療施設勤務医師数	401	413	458	57	14%	12	3%	45	11%	
人口10万対	165.3	167.7	192.3	27.0	16%	2.4	1%	24.6	15%	
男性医師数	357	371	393	36	10%	14	4%	22	6%	
人口10万対	147.2	150.7	165.0	17.8	12%	3.5	2%	14.3	10%	
女性医師数	44	42	65	21	48%	-2	-5%	23	55%	
人口10万対	18.1	17.1	27.3	9.2	50%	-1.1	-6%	10.2	60%	
病院勤務医師数	245	233	266	21	9%	-12	-5%	33	14%	
人口10万対	101.0	94.6	111.7	10.7	11%	-6.4	-6%	17.1	18%	
診療所勤務医師数	156	180	192	36	23%	24	15%	12	7%	
人口10万対	64.3	73.1	80.6	16.3	25%	8.8	14%	7.5	10%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.6	51.3	55.5	6.0	12%	1.8	4%	4.2	8%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	74	38	30	-44	-59%	-36	-49%	-8	-21%
	35-49歳	176	175	117	-59	-34%	-1	-1%	-58	-33%
	50-64歳	60	142	210	150	250%	82	137%	68	48%
	65歳以上	91	58	101	10	11%	-33	-36%	43	74%
	75歳以上(再掲)	30	32	27	-3	-10%	2	7%	-5	-16%
男性	24-34歳	51	26	21	-30	-59%	-25	-49%	-5	-19%
	35-49歳	164	156	90	-74	-45%	-8	-5%	-66	-42%
	50-64歳	56	131	185	129	230%	75	134%	54	41%
	65歳以上	86	58	97	11	13%	-28	-33%	39	67%
	75歳以上(再掲)	26	32	27	1	4%	6	23%	-5	-16%
女性	24-34歳	23	12	9	-14	-61%	-11	-48%	-3	-25%
	35-49歳	12	19	27	15	125%	7	58%	8	42%
	50-64歳	4	11	25	21	525%	7	175%	14	127%
	65歳以上	5	0	4	-1	-20%	-5	-100%	4	
	75歳以上(再掲)	4	0	0	-4	-100%	-4	-100%	0	
病院	24-34歳	69	36	27	-42	-61%	-33	-48%	-9	-25%
	35-49歳	115	120	90	-25	-22%	5	4%	-30	-25%
	50-64歳	24	59	109	85	354%	35	146%	50	85%
	65歳以上	37	18	40	3	8%	-19	-51%	22	122%
	75歳以上(再掲)	14	7	10	-4	-29%	-7	-50%	3	43%
診療所	24-34歳	5	2	3	-2	-40%	-3	-60%	1	50%
	35-49歳	61	55	27	-34	-56%	-6	-10%	-28	-51%
	50-64歳	36	83	101	65	181%	47	131%	18	22%
	65歳以上	54	40	61	7	13%	-14	-26%	21	53%
	75歳以上(再掲)	16	25	17	1	6%	9	56%	-8	-32%
	85歳以上(再掲)	1	6	9	8	800%	5	500%	3	50%

## 始良・伊佐医療圏

### <医師数の推移>

始良・伊佐医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科、脳神経外科、リハビリテーション科であり、少ない診療科は、外科(総数)、心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、整形外科、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	401	165.3	48	413	167.7	45	458	192.3	45	57	14%	27.0	16%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	199	82.0	52	181	73.5	48	204	85.7	49	5	3%	3.6	4%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	18	7.4	42	20	8.1	42	30	12.6	49	12	67%	5.2	70%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	29	12.0	60	36	14.6	61	41	17.2	59	12	41%	5.3	44%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	48	19.8	49	43	17.5	49	32	13.4	43	-16	-33%	-6.4	-32%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	1	0.4	48	2	0.8	53	2		0.8	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0		0.0	
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	7	2.9	44	11	4.5	48	17	7.1	55	10	143%	4.3	147%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	29	12.0	48	29	11.8	44	27	11.3	40	-2	-7%	-0.6	-5%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	1	0.4	40	1		0.4	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	9	3.7	45	11	4.5	45	12	5.0	44	3	33%	1.3	36%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	12	4.9	42	12	4.9	38	16	6.7	41	4	33%	1.8	36%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	11	4.5	43	12	4.9	43	12	5.0	43	1	9%	0.5	11%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	1.6	39	8	3.2	43	12	5.0	48	8	200%	3.4	206%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	9	3.7	36	12	4.9	39	14	5.9	40	5	56%	2.2	58%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	11	4.5	101	21	8.5	108	20	8.4	91	9	82%	3.9	85%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	8	3.3	50	7	2.8	47	6	2.5	43	-2	-25%	-0.8	-24%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	5	2.1	44	4	1.6	40	5	2.1	39	0	0%	0.0	2%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0		0.0	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				4	1.6	39	3	1.3	37	3	-25%	-0.4	-22%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	0.8	42	1	0.4	41	4	1.7	40	2	100%	0.9	104%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 始良・伊佐医療圏

## ＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は29,491人(-12%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は42人(9%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は240人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は25%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

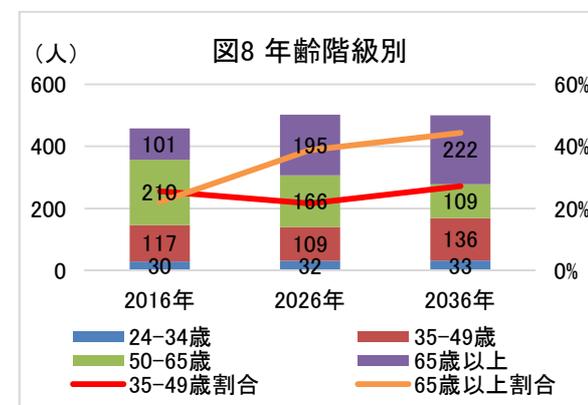
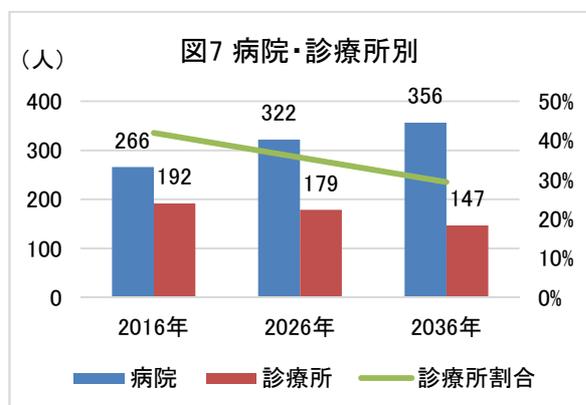
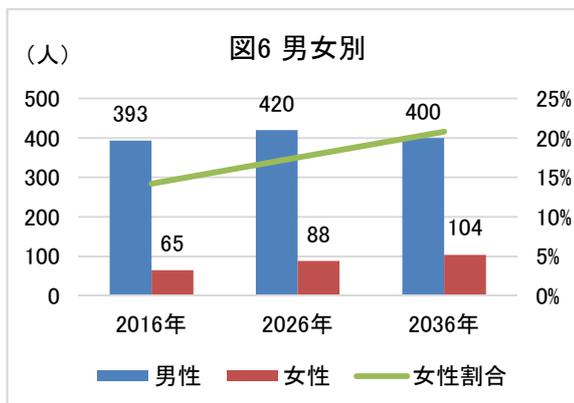
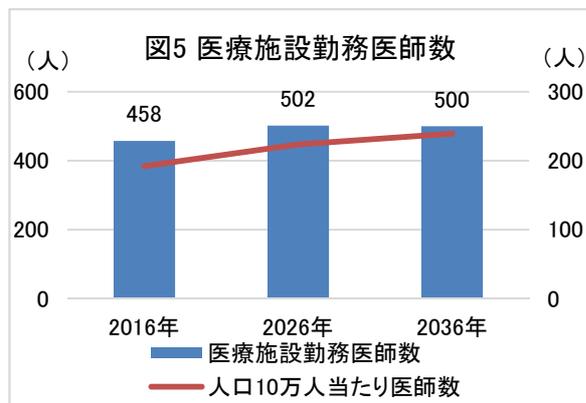
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて7人(2%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に39人(60%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は21%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて90人(34%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に45人(-23%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は29%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は19人(16%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて121人(120%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年22%、2036年44%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



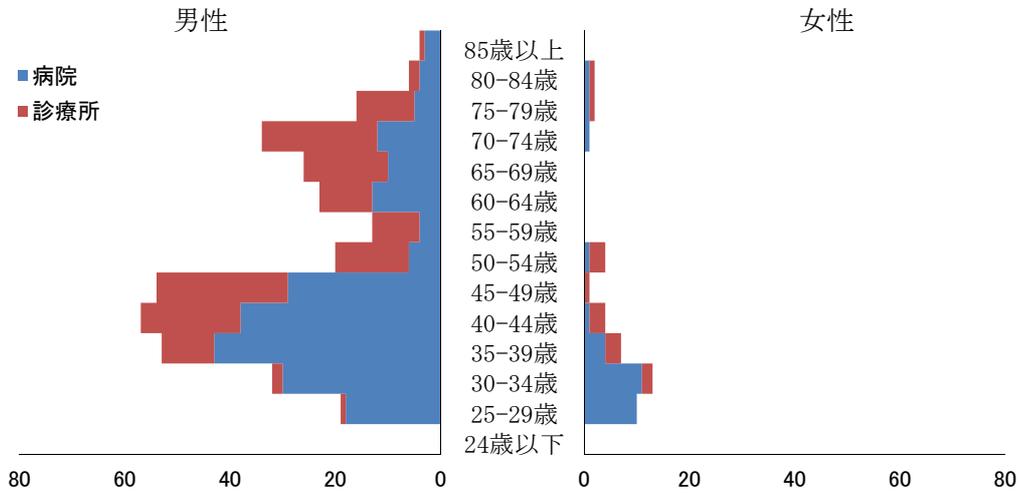
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 始良・伊佐医療圏

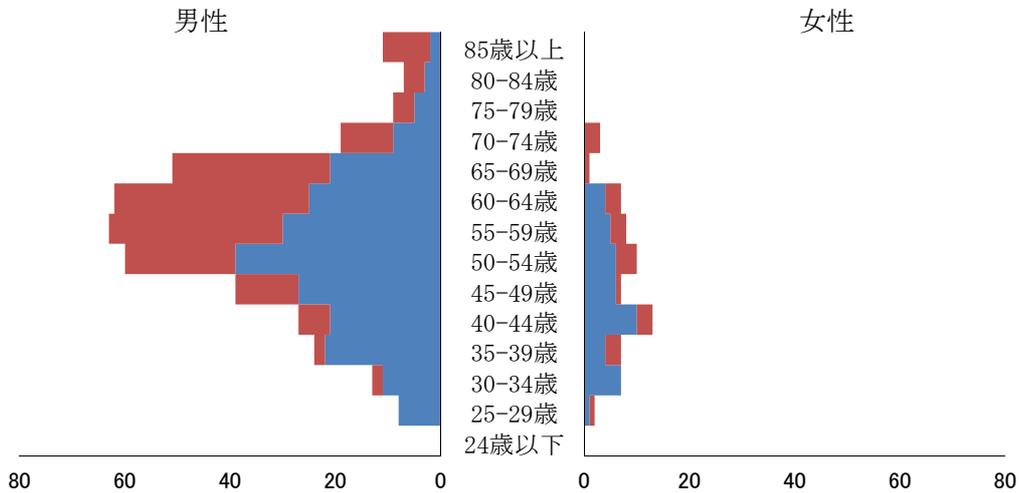
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

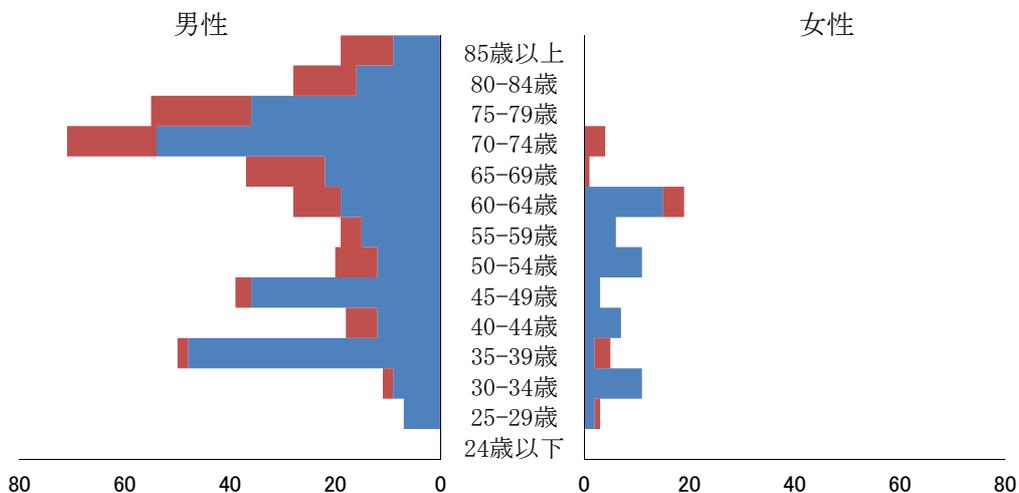
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 始良・伊佐医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	238,167	224,204	208,676	-29,491	-12%	-13,963	-6%	-15,528	-7%	
医療施設勤務医師数	458	502	500	42	9%	44	10%	-2	0%	
人口10万対	192.3	223.9	239.6	47.3	25%	31.6	16%	15.7	7%	
男性医師数	393	420	400	7	2%	27	7%	-20	-5%	
人口10万対	165.0	187.3	191.7	26.7	16%	22.3	14%	4.4	2%	
女性医師数	65	88	104	39	60%	23	35%	16	18%	
人口10万対	27.3	39.2	49.8	22.5	83%	12.0	44%	10.6	27%	
病院勤務医師数	266	322	356	90	34%	56	21%	34	11%	
人口10万対	111.7	143.6	170.6	58.9	53%	31.9	29%	27.0	19%	
診療所勤務医師数	192	179	147	-45	-23%	-13	-7%	-32	-18%	
人口10万対	80.6	79.8	70.4	-10.2	-13%	-0.8	-1%	-9.4	-12%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	30	32	33	3	10%	2	7%	1	3%
	35-49歳	117	109	136	19	16%	-8	-7%	27	25%
	50-64歳	210	166	109	-101	-48%	-44	-21%	-57	-34%
	65歳以上	101	195	222	121	120%	94	93%	27	14%
	75歳以上(再掲)	27	62	108	81	300%	35	130%	46	74%
男性	24-34歳	21	22	17	-4	-19%	1	5%	-5	-23%
	35-49歳	90	87	115	25	28%	-3	-3%	28	32%
	50-64歳	185	133	72	-113	-61%	-52	-28%	-61	-46%
	65歳以上	97	178	196	99	102%	81	84%	18	10%
	75歳以上(再掲)	27	60	98	71	263%	33	122%	38	63%
女性	24-34歳	9	9	14	5	56%	0	0%	5	56%
	35-49歳	27	28	29	2	7%	1	4%	1	4%
	50-64歳	25	36	44	19	76%	11	44%	8	22%
	65歳以上	4	15	17	13	325%	11	275%	2	13%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	27	28	29	2	7%	1	4%	1	4%
	35-49歳	90	81	97	7	8%	-9	-10%	16	20%
	50-64歳	109	103	69	-40	-37%	-6	-6%	-34	-33%
	65歳以上	40	110	161	121	303%	70	175%	51	46%
	75歳以上(再掲)	10	33	70	60	600%	23	230%	37	112%
診療所	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	27	23	23	-4	-15%	-4	-15%	0	0%
	50-64歳	101	57	38	-63	-62%	-44	-44%	-19	-33%
	65歳以上	61	96	83	22	36%	35	57%	-13	-14%
	75歳以上(再掲)	17	31	46	29	171%	14	82%	15	48%
	85歳以上(再掲)	9	6	11	2	22%	-3	-33%	5	83%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 曾於医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は18,225人(-18%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は33人(-29%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は97人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は-14%減り、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

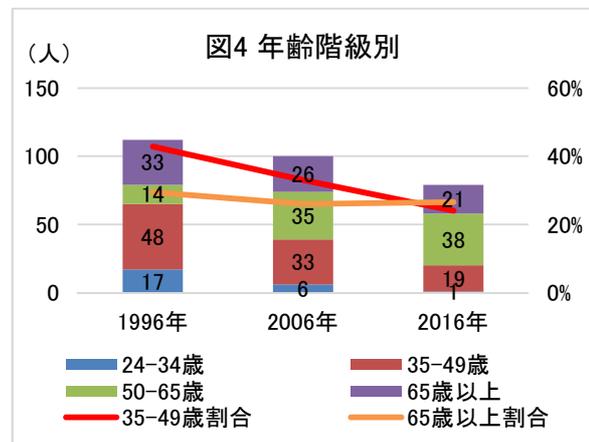
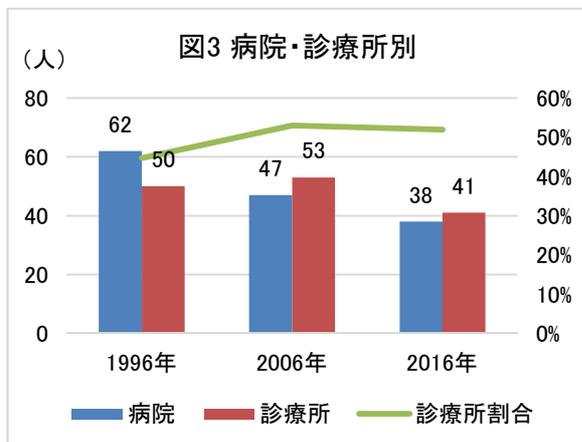
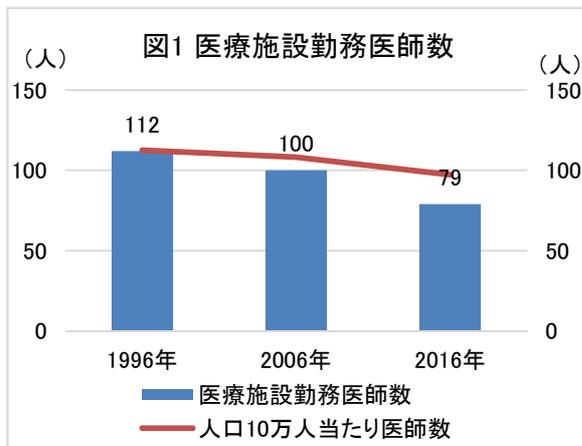
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて32人(-30%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に1人(-17%)減り、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は6%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて24人(-39%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に9人(-18%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は52%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は29人(-60%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて12人(-36%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年29%、2016年27%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 曾於医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	99,502	92,360	81,277	-18,225	-18%	-7,142	-7%	-11,083	-12%	
総医師数	120	110	86	-34	-28%	-10	-8%	-24	-22%	
人口10万対	120.6	119.1	105.8	-14.8	-12%	-1.5	-1%	-13.3	-11%	
医療施設勤務医師数	112	100	79	-33	-29%	-12	-11%	-21	-21%	
人口10万対	112.6	108.3	97.2	-15.4	-14%	-4.3	-4%	-11.1	-10%	
男性医師数	106	97	74	-32	-30%	-9	-8%	-23	-24%	
人口10万対	106.5	105.0	91.0	-15.5	-15%	-1.5	-1%	-14.0	-13%	
女性医師数	6	3	5	-1	-17%	-3	-50%	2	67%	
人口10万対	6.0	3.2	6.2	0.1	2%	-2.8	-46%	2.9	89%	
病院勤務医師数	62	47	38	-24	-39%	-15	-24%	-9	-19%	
人口10万対	62.3	50.9	46.8	-15.6	-25%	-11.4	-18%	-4.1	-8%	
診療所勤務医師数	50	53	41	-9	-18%	3	6%	-12	-23%	
人口10万対	50.3	57.4	50.4	0.2	0%	7.1	14%	-6.9	-12%	
医療施設勤務医 平均年齢	51.4	56.7	57.6	6.2	12%	5.3	10%	0.9	2%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	17	6	1	-16	-94%	-11	-65%	-5	-83%
	35-49歳	48	33	19	-29	-60%	-15	-31%	-14	-42%
	50-64歳	14	35	38	24	171%	21	150%	3	9%
	65歳以上	33	26	21	-12	-36%	-7	-21%	-5	-19%
	75歳以上(再掲)	14	18	3	-11	-79%	4	29%	-15	-83%
男性	24-34歳	16	6	1	-15	-94%	-10	-63%	-5	-83%
	35-49歳	45	32	16	-29	-64%	-13	-29%	-16	-50%
	50-64歳	14	34	37	23	164%	20	143%	3	9%
	65歳以上	31	25	20	-11	-35%	-6	-19%	-5	-20%
	75歳以上(再掲)	13	17	3	-10	-77%	4	31%	-14	-82%
女性	24-34歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	35-49歳	3	1	3	0	0%	-2	-67%	2	200%
	50-64歳	0	1	1	1		1		0	0%
	65歳以上	2	1	1	-1	-50%	-1	-50%	0	0%
	75歳以上(再掲)	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
病院	24-34歳	16	5	1	-15	-94%	-11	-69%	-4	-80%
	35-49歳	35	20	10	-25	-71%	-15	-43%	-10	-50%
	50-64歳	6	15	17	11	183%	9	150%	2	13%
	65歳以上	5	7	10	5	100%	2	40%	3	43%
	75歳以上(再掲)	3	2	1	-2	-67%	-1	-33%	-1	-50%
診療所	24-34歳	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
	35-49歳	13	13	9	-4	-31%	0	0%	-4	-31%
	50-64歳	8	20	21	13	163%	12	150%	1	5%
	65歳以上	28	19	11	-17	-61%	-9	-32%	-8	-42%
	75歳以上(再掲)	11	16	2	-9	-82%	5	45%	-14	-88%
	85歳以上(再掲)	1	4	2	1	100%	3	300%	-2	-50%

## 曾於医療圏

### <医師数の推移>

曾於医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、眼科、産婦人科(総数)、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、耳鼻咽喉科、泌尿器科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	112	112.6	41	100	108.3	38	79	97.2	34	-33	-29%	-15.4	-14%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	68	68.3	48	57	61.7	44	43	52.9	38	-25	-37%	-15.4	-23%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	5	5.0	37	4	4.3	34	3	3.7	32	-2	-40%	-1.3	-27%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	3	3.0	37	6	6.5	43	4	4.9	37	1	33%	1.9	63%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	16	16.1	45	11	11.9	41	7	8.6	36	-9	-56%	-7.5	-46%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	3	3.0	44	5	5.4	52	4	4.9	47	1	33%	1.9	63%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	5	5.0	34	7	7.6	35	7	8.6	35	2	40%	3.6	71%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	0	0.0	34	0	0.0	31	1	1.2	34	1	1	1.2	1.2
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	2	2.0	36	2	2.2	32	1	1.2	28	-1	-50%	-0.8	-39%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	1	1.0	33	2	2.2	35	2	2.5	35	1	100%	1.5	145%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	2	2.0	41	1	1.1	34	3	3.7	43	1	50%	1.7	84%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	3	3.0	34	3	3.2	35	2	2.5	33	-1	-33%	-0.6	-18%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	3	3.0	49	2	2.2	44	1	1.2	39	-2	-67%	-1.8	-59%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	0	0.0	36	1	1.2	37	1	1	1.2	1.2
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0	0.0	0.0
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	1.0	42	0	0.0	40	0	0.0	37	-1	-100%	-1.0	-100%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 曾於医療圏

### < 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は21,748人(-27%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は48人(-61%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は52人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は-46%減り、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

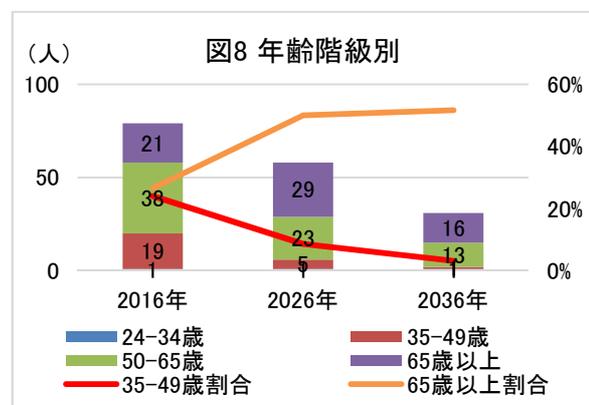
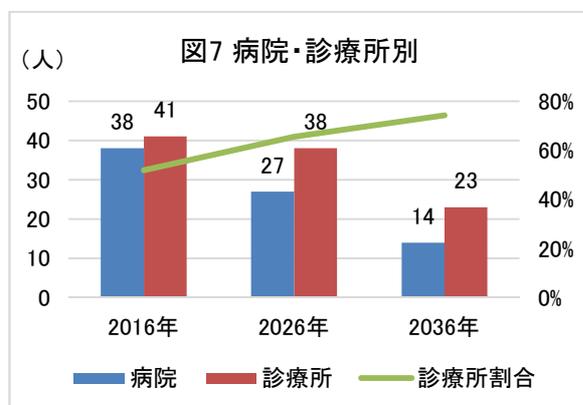
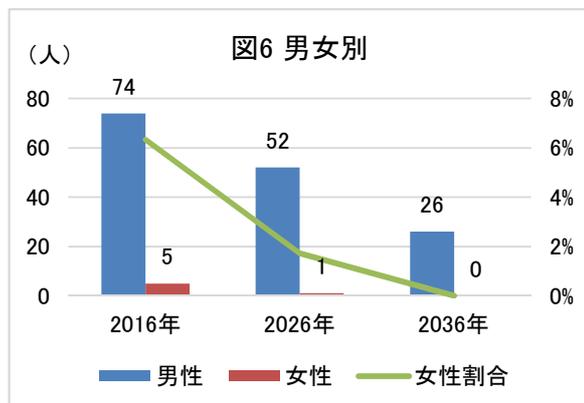
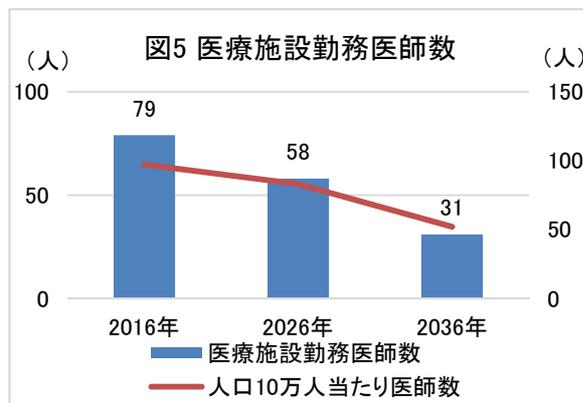
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて48人(-65%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に5人(-100%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は0%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて24人(-63%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に18人(-44%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は74%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は18人(-95%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて5人(-24%)減り、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年27%、2036年52%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



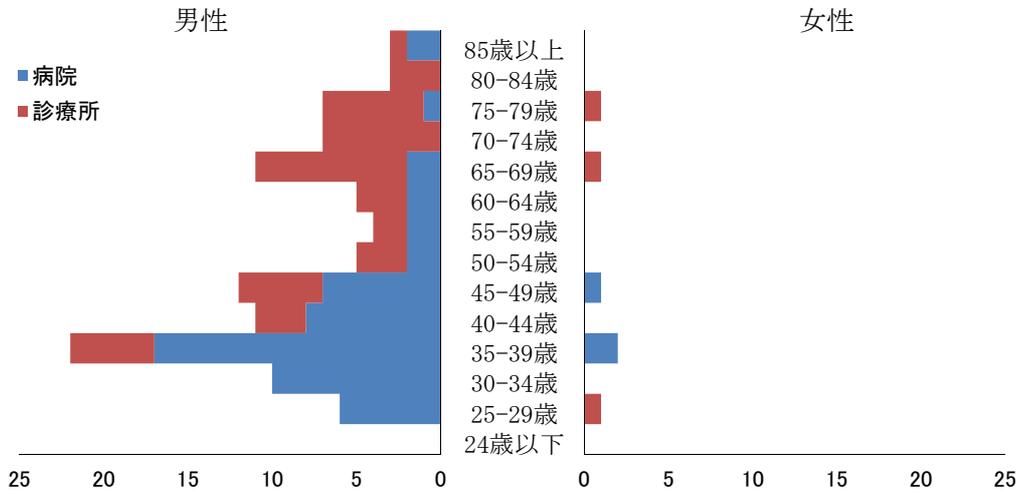
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 曾於医療圏

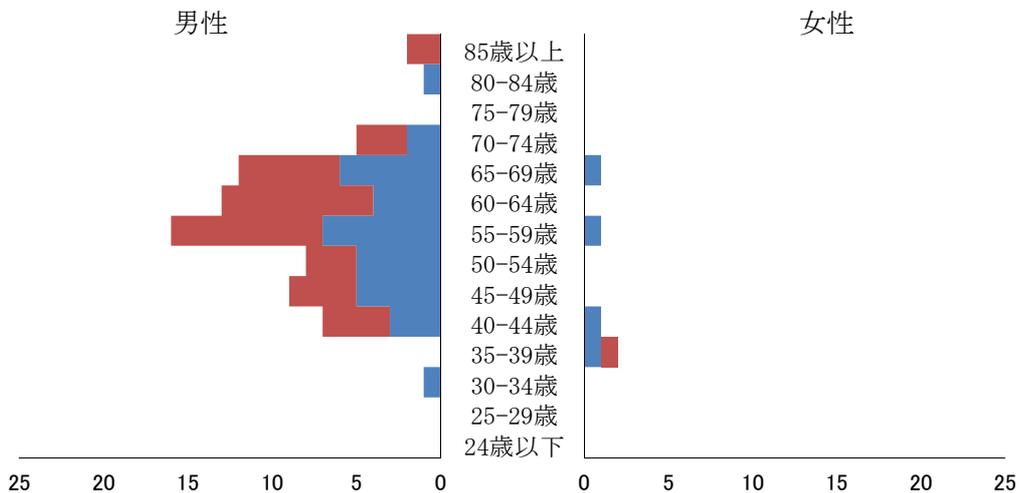
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

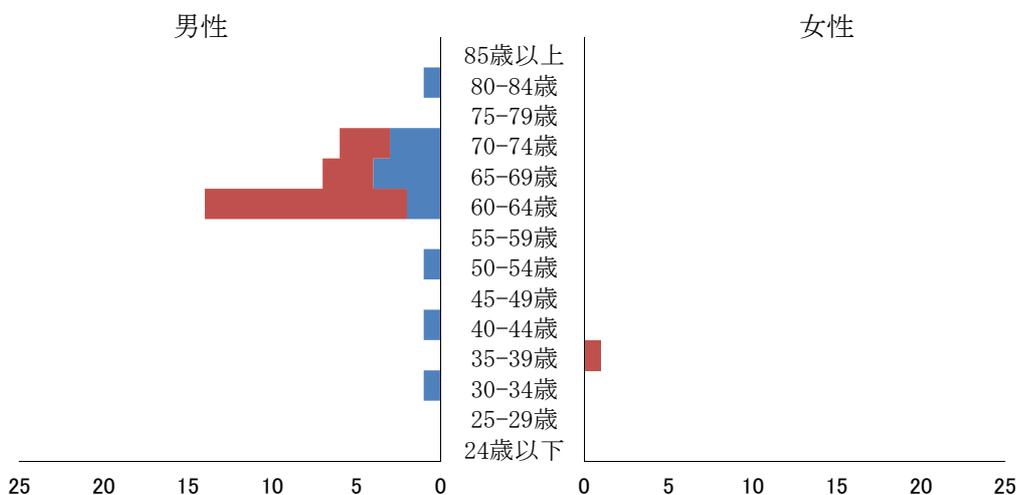
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 曾於医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	81,277	69,754	59,529	-21,748	-27%	-11,523	-14%	-10,225	-15%	
医療施設勤務医師数	79	58	31	-48	-61%	-21	-27%	-27	-47%	
人口10万対	97.2	83.1	52.1	-45.1	-46%	-14.0	-14%	-31.1	-37%	
男性医師数	74	52	26	-48	-65%	-22	-30%	-26	-50%	
人口10万対	91.0	74.5	43.7	-47.4	-52%	-16.5	-18%	-30.9	-41%	
女性医師数	5	1	0	-5	-100%	-4	-80%	-1	-100%	
人口10万対	6.2	1.4	0.0	-6.2	-100%	-4.7	-77%	-1.4	-100%	
病院勤務医師数	38	27	14	-24	-63%	-11	-29%	-13	-48%	
人口10万対	46.8	38.7	23.5	-23.2	-50%	-8.0	-17%	-15.2	-39%	
診療所勤務医師数	41	38	23	-18	-44%	-3	-7%	-15	-39%	
人口10万対	50.4	54.5	38.6	-11.8	-23%	4.0	8%	-15.8	-29%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	19	5	1	-18	-95%	-14	-74%	-4	-80%
	50-64歳	38	23	13	-25	-66%	-15	-39%	-10	-43%
	65歳以上	21	29	16	-5	-24%	8	38%	-13	-45%
	75歳以上(再掲)	3	1	3	0	0%	-2	-67%	2	200%
男性	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	16	1	1	-15	-94%	-15	-94%	0	0%
	50-64歳	37	22	8	-29	-78%	-15	-41%	-14	-64%
	65歳以上	20	28	16	-4	-20%	8	40%	-12	-43%
	75歳以上(再掲)	3	1	3	0	0%	-2	-67%	2	200%
女性	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	3	0	0	-3	-100%	-3	-100%	0	
	50-64歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	65歳以上	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	10	3	1	-9	-90%	-7	-70%	-2	-67%
	50-64歳	17	10	4	-13	-76%	-7	-41%	-6	-60%
	65歳以上	10	13	8	-2	-20%	3	30%	-5	-38%
	75歳以上(再掲)	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	9	3	3	-6	-67%	-6	-67%	0	0%
	50-64歳	21	19	14	-7	-33%	-2	-10%	-5	-26%
	65歳以上	11	16	6	-5	-45%	5	45%	-10	-63%
	75歳以上(再掲)	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	85歳以上(再掲)	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 肝属医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は20,621人(-12%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は19人(7%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は182人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は21%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

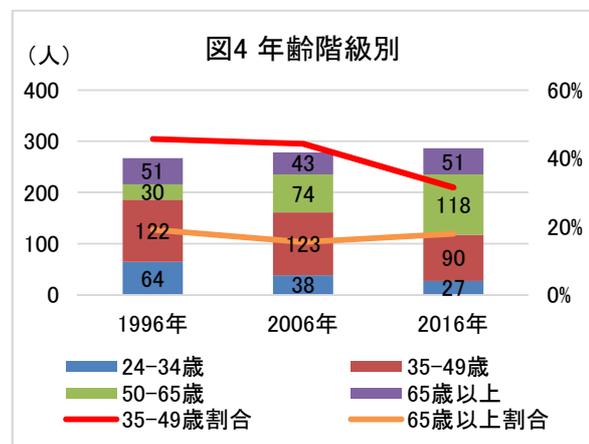
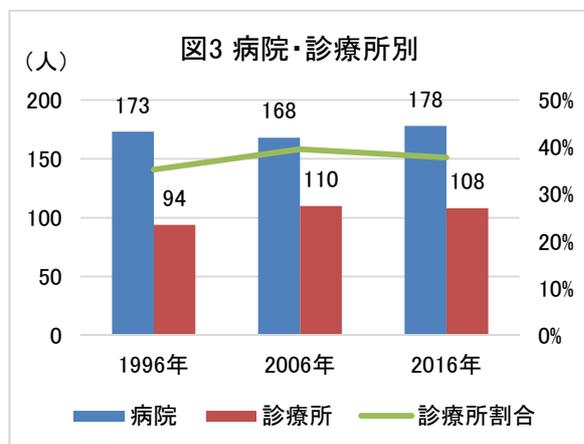
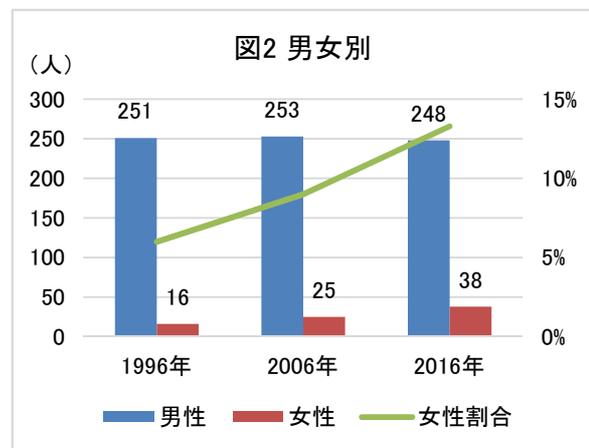
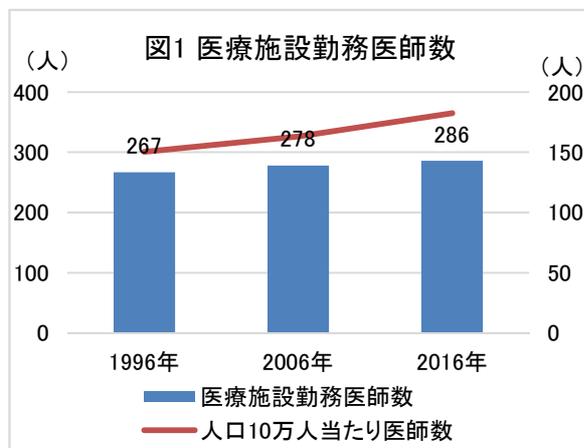
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて3人(-1%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に22人(138%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は13%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて5人(3%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に14人(15%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は38%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は32人(-26%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて増減がなく、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年19%、2016年18%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 肝属医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	177,408	170,477	156,787	-20,621	-12%	-6,931	-4%	-13,690	-8%	
総医師数	275	290	298	23	8%	15	5%	8	3%	
人口10万対	155.0	170.1	190.1	35.1	23%	15.1	10%	20.0	12%	
医療施設勤務医師数	267	278	286	19	7%	11	4%	8	3%	
人口10万対	150.5	163.1	182.4	31.9	21%	12.6	8%	19.3	12%	
男性医師数	251	253	248	-3	-1%	2	1%	-5	-2%	
人口10万対	141.5	148.4	158.2	16.7	12%	6.9	5%	9.8	7%	
女性医師数	16	25	38	22	138%	9	56%	13	52%	
人口10万対	9.0	14.7	24.2	15.2	169%	5.6	63%	9.6	65%	
病院勤務医師数	173	168	178	5	3%	-5	-3%	10	6%	
人口10万対	97.5	98.5	113.5	16.0	16%	1.0	1%	15.0	15%	
診療所勤務医師数	94	110	108	14	15%	16	17%	-2	-2%	
人口10万対	53.0	64.5	68.9	15.9	30%	11.5	22%	4.4	7%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.6	49.8	53.3	5.8	12%	2.3	5%	3.5	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	64	38	27	-37	-58%	-26	-41%	-11	-29%
	35-49歳	122	123	90	-32	-26%	1	1%	-33	-27%
	50-64歳	30	74	118	88	293%	44	147%	44	59%
	65歳以上	51	43	51	0	0%	-8	-16%	8	19%
	75歳以上(再掲)	14	27	17	3	21%	13	93%	-10	-37%
男性	24-34歳	57	31	20	-37	-65%	-26	-46%	-11	-35%
	35-49歳	116	107	73	-43	-37%	-9	-8%	-34	-32%
	50-64歳	27	73	106	79	293%	46	170%	33	45%
	65歳以上	51	42	49	-2	-4%	-9	-18%	7	17%
	75歳以上(再掲)	14	27	17	3	21%	13	93%	-10	-37%
女性	24-34歳	7	7	7	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	6	16	17	11	183%	10	167%	1	6%
	50-64歳	3	1	12	9	300%	-2	-67%	11	1100%
	65歳以上	0	1	2	2		1		1	100%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	60	35	26	-34	-57%	-25	-42%	-9	-26%
	35-49歳	82	81	69	-13	-16%	-1	-1%	-12	-15%
	50-64歳	13	36	62	49	377%	23	177%	26	72%
	65歳以上	18	16	21	3	17%	-2	-11%	5	31%
	75歳以上(再掲)	4	12	7	3	75%	8	200%	-5	-42%
診療所	24-34歳	4	3	1	-3	-75%	-1	-25%	-2	-67%
	35-49歳	40	42	21	-19	-48%	2	5%	-21	-50%
	50-64歳	17	38	56	39	229%	21	124%	18	47%
	65歳以上	33	27	30	-3	-9%	-6	-18%	3	11%
	75歳以上(再掲)	10	15	10	0	0%	5	50%	-5	-33%
	85歳以上(再掲)	3	2	6	3	100%	-1	-33%	4	200%

## 肝属医療圏

## ＜医師数の推移＞

肝属医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、心臓血管外科であり、少ない診療科は、小児科、精神科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、整形外科、耳鼻咽喉科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児科、形成外科、皮膚科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	267	150.5	46	278	163.1	45	286	182.4	44	19	7%	31.9	21%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	120	67.6	48	117	68.6	47	120	76.5	46	0	0%	8.9	13%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	6	3.4	33	10	5.9	37	13	8.3	41	7	117%	4.9	145%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	12	6.8	47	10	5.9	41	13	8.3	43	1	8%	1.5	23%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	39	22.0	51	35	20.5	53	30	19.1	50	-9	-23%	-2.8	-13%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.6	52	0	0.0	41	1	0.6	50	0	0%	0.1	13%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	5	2.9	55	6	3.8	58	6		3.8	
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	9	5.1	52	8	4.7	49	9	5.7	50	0	0%	0.7	13%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	24	13.5	51	22	12.9	46	21	13.4	44	-3	-13%	-0.1	-1%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	0.6	46	1	0.6	43	3	1.9	49	2	200%	1.3	239%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	4	2.3	41	10	5.9	49	9	5.7	46	5	125%	3.5	155%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	8	4.5	41	8	4.7	38	9	5.7	39	1	13%	1.2	27%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	10	5.6	46	9	5.3	45	8	5.1	43	-2	-20%	-0.5	-9%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	7	3.9	49	9	5.3	52	9	5.7	51	2	29%	1.8	45%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	12	6.8	43	12	7.0	44	12	7.7	44	0	0%	0.9	13%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	3	1.7	63	1	0.6	43	3	1.9	50	0	0%	0.2	13%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	6	3.4	50	7	4.1	51	7	4.5	48	1	17%	1.1	32%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	4	2.3	45	3	1.8	41	5	3.2	41	1	25%	0.9	41%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				1	0.6	44	1	0.6	41	0	0%	0.1	9%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				10	5.9	44	3	1.9	38	3	-70%	-4.0	-67%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	0.6	41	0	0.0	40	4	2.6	42	3	300%	2.0	353%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 肝属医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は28,868人(-18%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は7人(-2%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は218人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は20%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

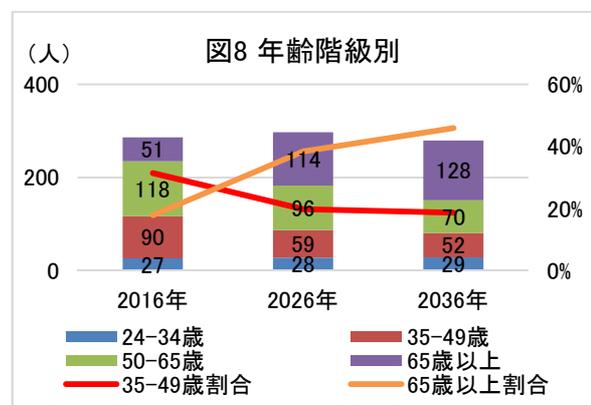
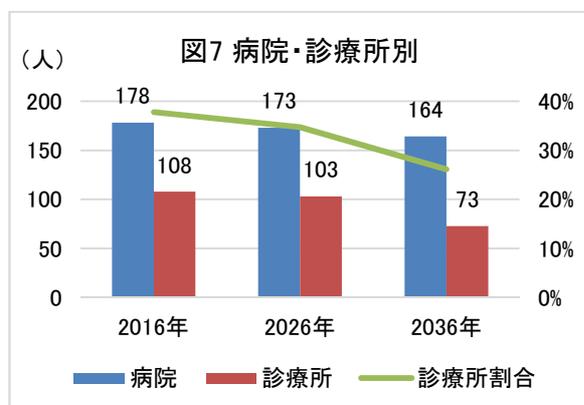
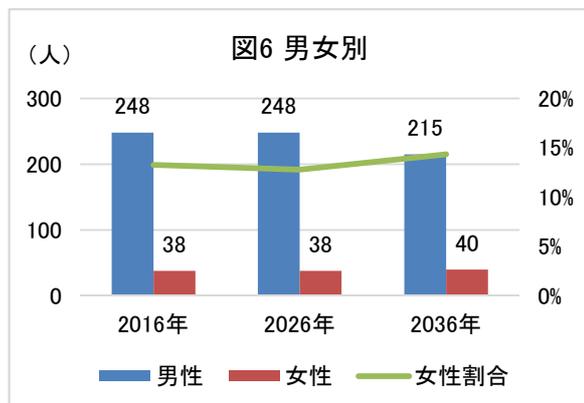
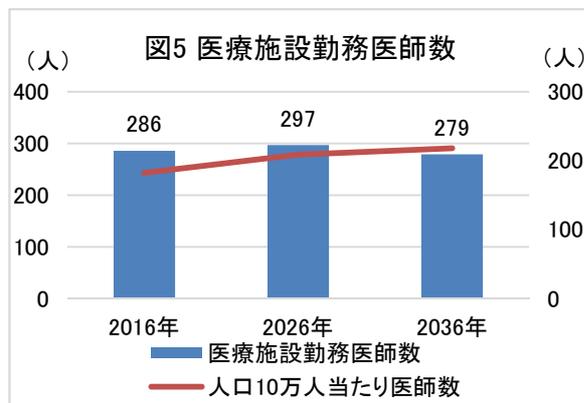
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて33人(-13%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(5%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は14%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて14人(-8%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に35人(-32%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は26%と、全国平均(26%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は38人(-42%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて77人(151%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年18%、2036年46%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



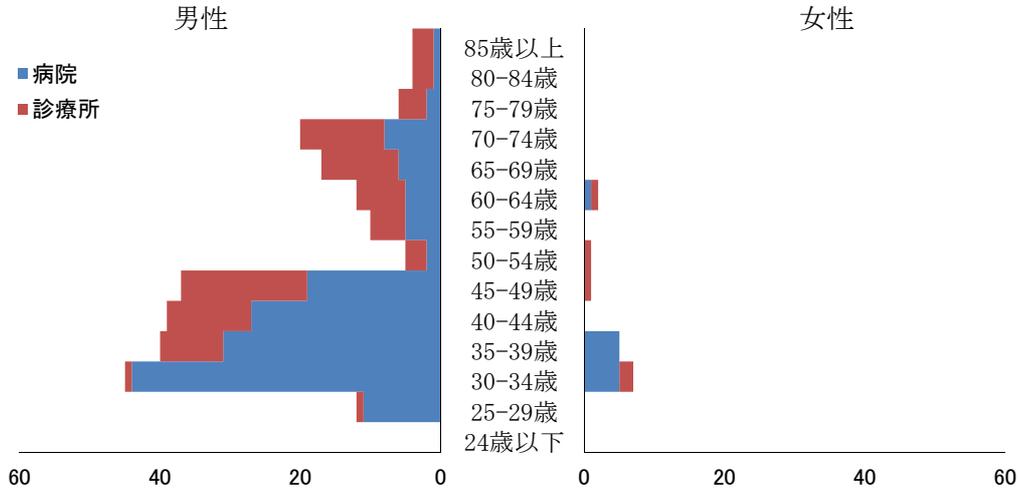
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 肝属医療圏

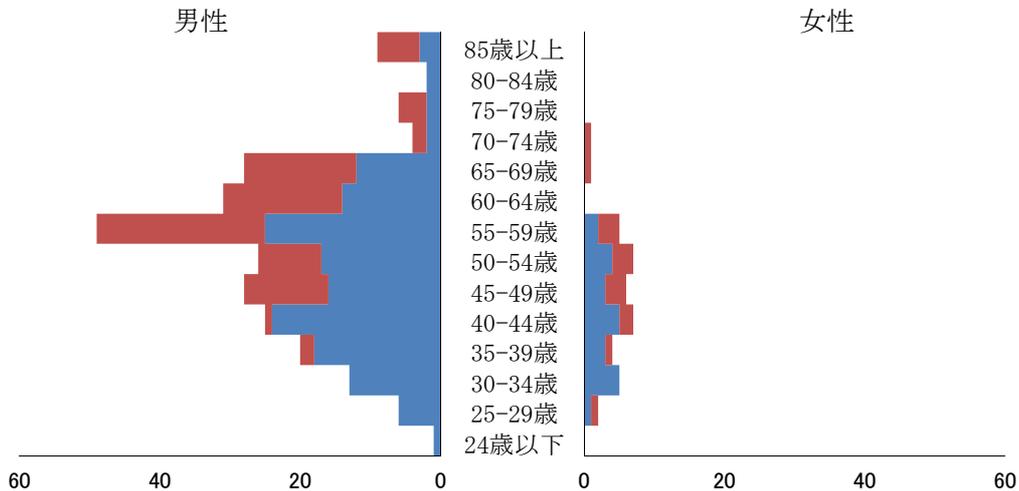
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

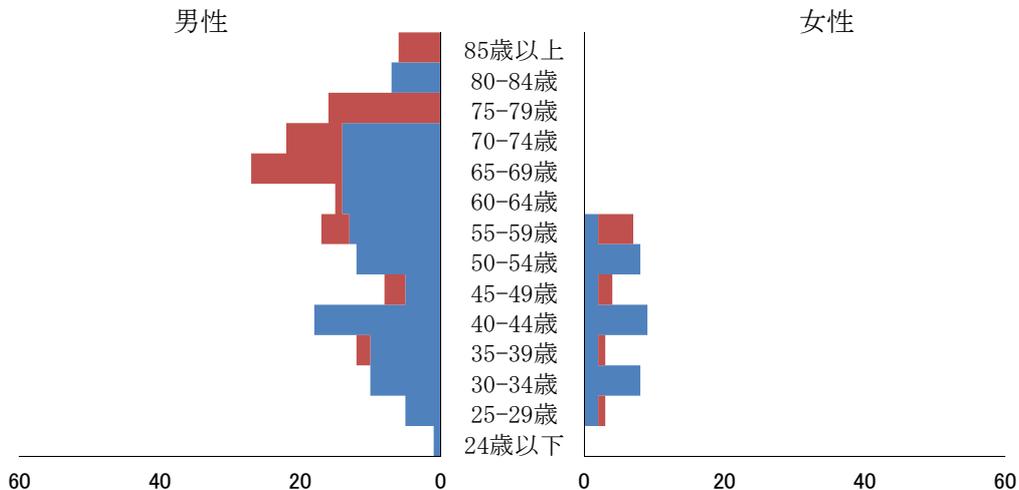
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 肝属医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	156,787	142,135	127,919	-28,868	-18%	-14,652	-9%	-14,216	-10%	
医療施設勤務医師数	286	297	279	-7	-2%	11	4%	-18	-6%	
人口10万対	182.4	209.0	218.1	35.7	20%	26.5	15%	9.2	4%	
男性医師数	248	248	215	-33	-13%	0	0%	-33	-13%	
人口10万対	158.2	174.5	168.1	9.9	6%	16.3	10%	-6.4	-4%	
女性医師数	38	38	40	2	5%	0	0%	2	5%	
人口10万対	24.2	26.7	31.3	7.0	29%	2.5	10%	4.5	17%	
病院勤務医師数	178	173	164	-14	-8%	-5	-3%	-9	-5%	
人口10万対	113.5	121.7	128.2	14.7	13%	8.2	7%	6.5	5%	
診療所勤務医師数	108	103	73	-35	-32%	-5	-5%	-30	-29%	
人口10万対	68.9	72.5	57.1	-11.8	-17%	3.6	5%	-15.4	-21%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	27	28	29	2	7%	1	4%	1	4%
	35-49歳	90	59	52	-38	-42%	-31	-34%	-7	-12%
	50-64歳	118	96	70	-48	-41%	-22	-19%	-26	-27%
	65歳以上	51	114	128	77	151%	63	124%	14	12%
	75歳以上(再掲)	17	36	65	48	282%	19	112%	29	81%
男性	24-34歳	20	21	16	-4	-20%	1	5%	-5	-24%
	35-49歳	73	43	37	-36	-49%	-30	-41%	-6	-14%
	50-64歳	106	76	51	-55	-52%	-30	-28%	-25	-33%
	65歳以上	49	108	111	62	127%	59	120%	3	3%
	75歳以上(再掲)	17	35	61	44	259%	18	106%	26	74%
女性	24-34歳	7	7	11	4	57%	0	0%	4	57%
	35-49歳	17	16	16	-1	-6%	-1	-6%	0	0%
	50-64歳	12	15	13	1	8%	3	25%	-2	-13%
	65歳以上	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	26	27	28	2	8%	1	4%	1	4%
	35-49歳	69	49	43	-26	-38%	-20	-29%	-6	-12%
	50-64歳	62	61	53	-9	-15%	-1	-2%	-8	-13%
	65歳以上	21	36	40	19	90%	15	71%	4	11%
	75歳以上(再掲)	7	3	7	0	0%	-4	-57%	4	133%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	21	8	8	-13	-62%	-13	-62%	0	0%
	50-64歳	56	33	9	-47	-84%	-23	-41%	-24	-73%
	65歳以上	30	61	55	25	83%	31	103%	-6	-10%
	75歳以上(再掲)	10	15	25	15	150%	5	50%	10	67%
	85歳以上(再掲)	6	4	6	0	0%	-2	-33%	2	50%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 熊毛医療圏

## ＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は8,104人(-16%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は7人(16%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は119人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は38%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

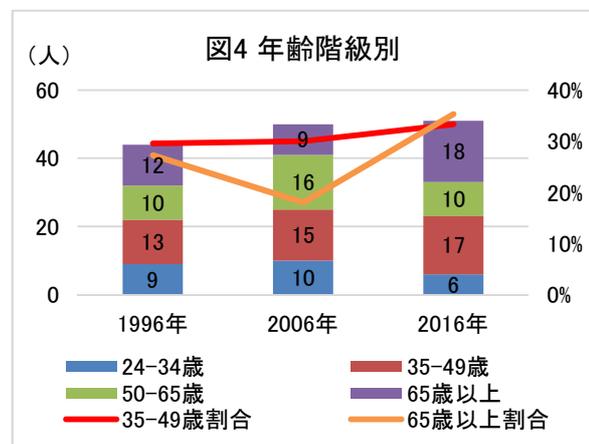
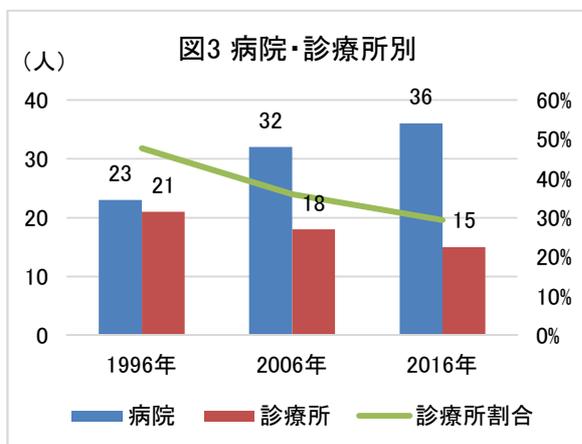
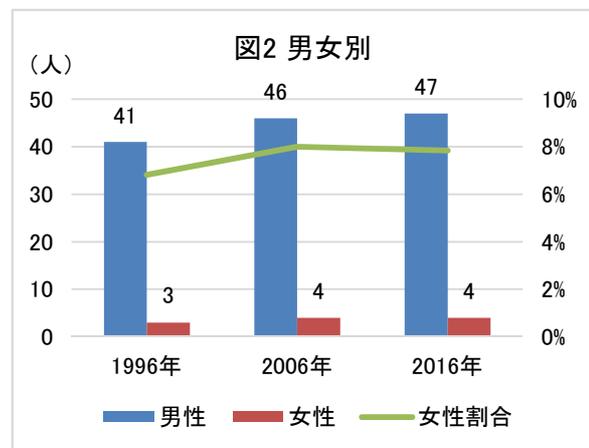
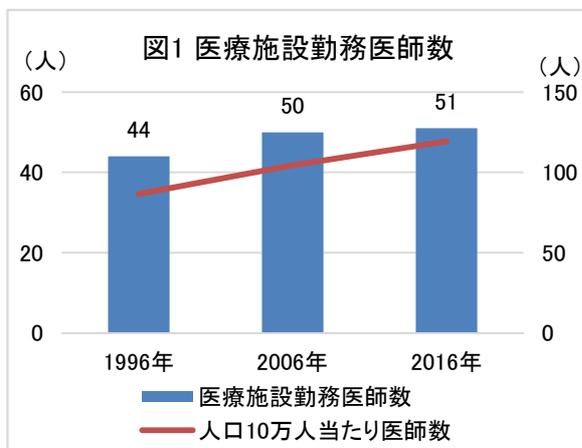
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて6人(15%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に1人(33%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は8%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて13人(57%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に6人(-29%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は29%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は4人(31%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて6人(50%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年27%、2016年35%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 熊毛医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	50,864	47,904	42,760	-8,104	-16%	-2,960	-6%	-5,144	-11%	
総医師数	49	53	54	5	10%	4	8%	1	2%	
人口10万対	96.3	110.6	126.3	30.0	31%	14.3	15%	15.6	14%	
医療施設勤務医師数	44	50	51	7	16%	6	14%	1	2%	
人口10万対	86.5	104.4	119.3	32.8	38%	17.9	21%	14.9	14%	
男性医師数	41	46	47	6	15%	5	12%	1	2%	
人口10万対	80.6	96.0	109.9	29.3	36%	15.4	19%	13.9	14%	
女性医師数	3	4	4	1	33%	1	33%	0	0%	
人口10万対	5.9	8.4	9.4	3.5	59%	2.5	42%	1.0	12%	
病院勤務医師数	23	32	36	13	57%	9	39%	4	13%	
人口10万対	45.2	66.8	84.2	39.0	86%	21.6	48%	17.4	26%	
診療所勤務医師数	21	18	15	-6	-29%	-3	-14%	-3	-17%	
人口10万対	41.3	37.6	35.1	-6.2	-15%	-3.7	-9%	-2.5	-7%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.8	50.4	54.9	5.1	10%	0.6	1%	4.5	9%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	9	10	6	-3	-33%	1	11%	-4	-40%
	35-49歳	13	15	17	4	31%	2	15%	2	13%
	50-64歳	10	16	10	0	0%	6	60%	-6	-38%
	65歳以上	12	9	18	6	50%	-3	-25%	9	100%
	75歳以上(再掲)	2	4	6	4	200%	2	100%	2	50%
男性	24-34歳	8	9	6	-2	-25%	1	13%	-3	-33%
	35-49歳	12	13	15	3	25%	1	8%	2	15%
	50-64歳	10	15	9	-1	-10%	5	50%	-6	-40%
	65歳以上	11	9	17	6	55%	-2	-18%	8	89%
	75歳以上(再掲)	2	4	6	4	200%	2	100%	2	50%
女性	24-34歳	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
	35-49歳	1	2	2	1	100%	1	100%	0	0%
	50-64歳	0	1	1	1		1		0	0%
	65歳以上	1	0	1	0	0%	-1	-100%	1	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	8	9	5	-3	-38%	1	13%	-4	-44%
	35-49歳	10	11	16	6	60%	1	10%	5	45%
	50-64歳	3	9	6	3	100%	6	200%	-3	-33%
	65歳以上	2	3	9	7	350%	1	50%	6	200%
	75歳以上(再掲)	0	1	3	3		1		2	200%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	3	4	1	-2	-67%	1	33%	-3	-75%
	50-64歳	7	7	4	-3	-43%	0	0%	-3	-43%
	65歳以上	10	6	9	-1	-10%	-4	-40%	3	50%
	75歳以上(再掲)	2	3	3	1	50%	1	50%	0	0%
	85歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	

## 熊毛医療圏

## ＜医師数の推移＞

熊毛医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、精神科、外科(総数)、脳神経外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、整形外科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	44	86.5	38	50	104.4	37	51	119.3	37	7	16%	32.8	38%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	21	41.3	40	21	43.8	38	29	67.8	43	8	38%	26.5	64%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	2	3.9	34	4	8.4	43	2	4.7	34	0	0%	0.7	19%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	3	5.9	45	3	6.3	42	2	4.7	36	-1	-33%	-1.2	-21%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	7	13.8	42	6	12.5	42	3	7.0	34	-4	-57%	-6.7	-49%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	2	3.9	48	3	6.3	56	1	2.3	37	-1	-50%	-1.6	-41%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	1	2.0	27	3	6.3	32	6	14.0	45	5	500%	12.1	614%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	1	2.1	54	1	2.3	52	1	100%	2.3	230%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	0	0.0	34	0	0.0	31	1	2.3	37	1	100%	2.3	230%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	0	0.0	31	1	2.1	32	1	2.3	31	1	100%	2.3	230%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	1	2.0	36	1	2.1	35	0	0.0	27	-1	-100%	-2.0	-100%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	1	2.0	41	1	2.1	38	0	0.0	28	-1	-100%	-2.0	-100%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	3	5.9	41	3	6.3	42	2	4.7	38	-1	-33%	-1.2	-21%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	2.1	55	1	2.3	52	1	100%	2.3	230%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	1	2.0	44	1	2.1	42	2	4.7	44	1	100%	2.7	138%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	3.9	49	1	2.1	44	0	0.0	37	-2	-100%	-3.9	-100%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 熊毛医療圏

## ＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は9,540人(-22%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は9人(-18%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は126人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は6%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

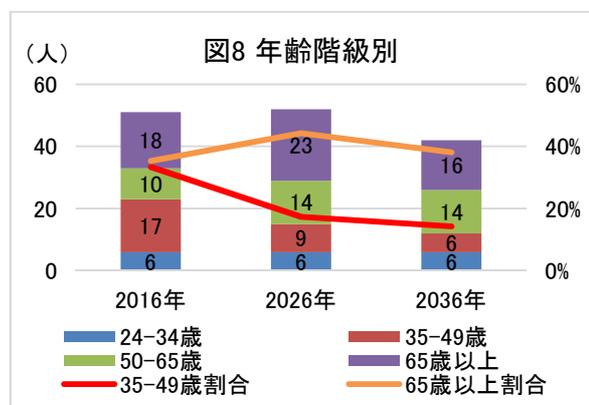
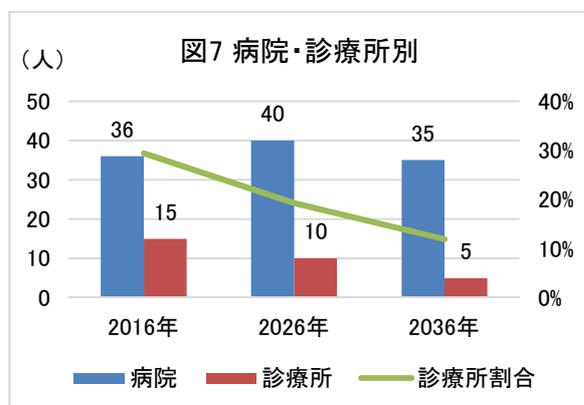
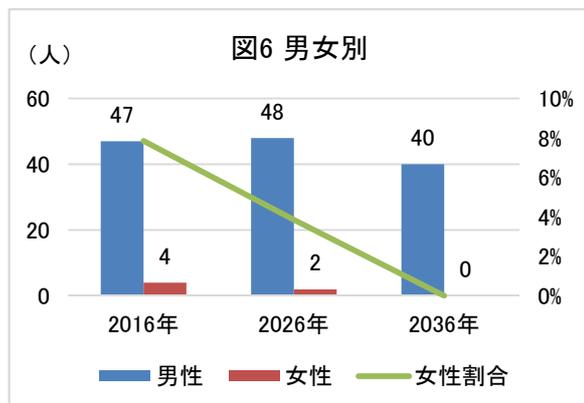
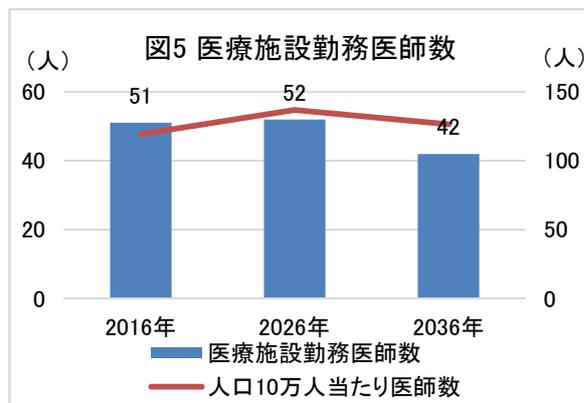
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて7人(-15%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に4人(-100%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は0%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて1人(-3%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に10人(-67%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は12%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は11人(-65%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて2人(-11%)減り、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年35%、2036年38%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



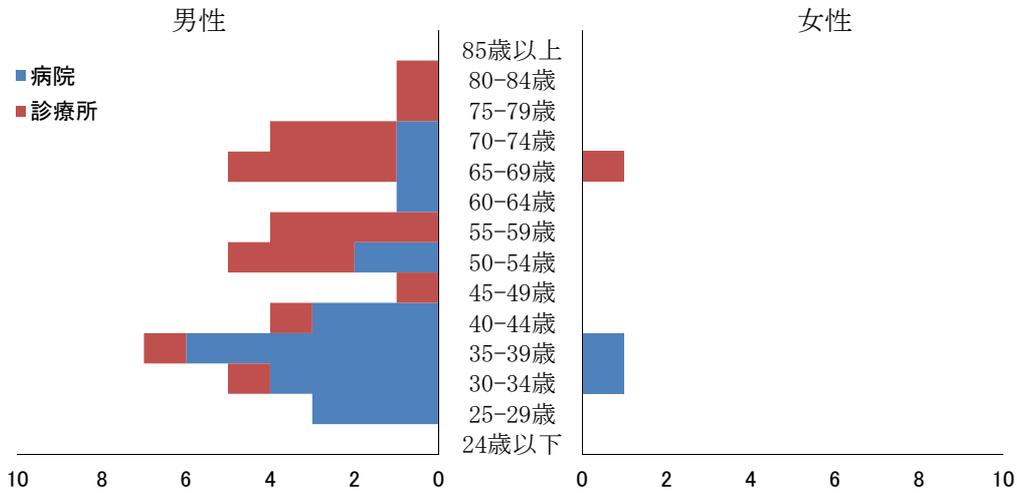
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

熊毛医療圏

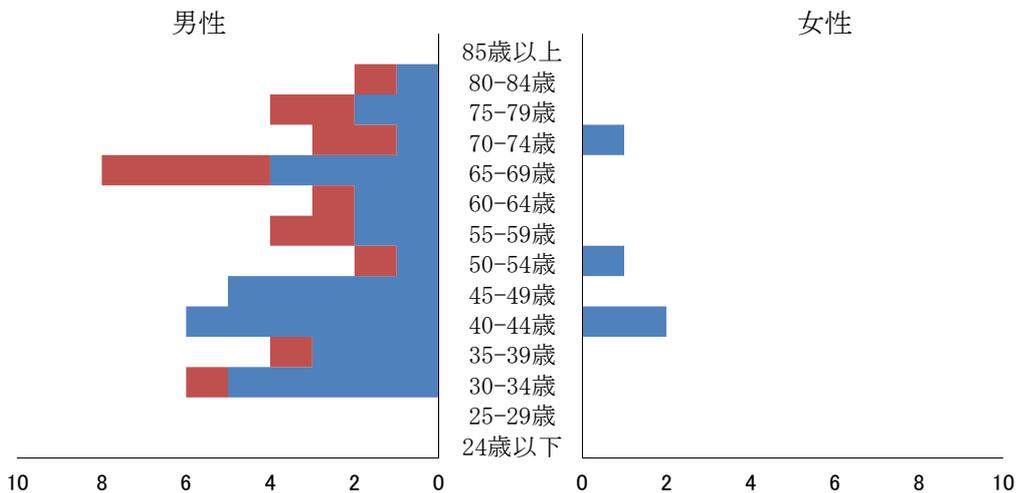
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

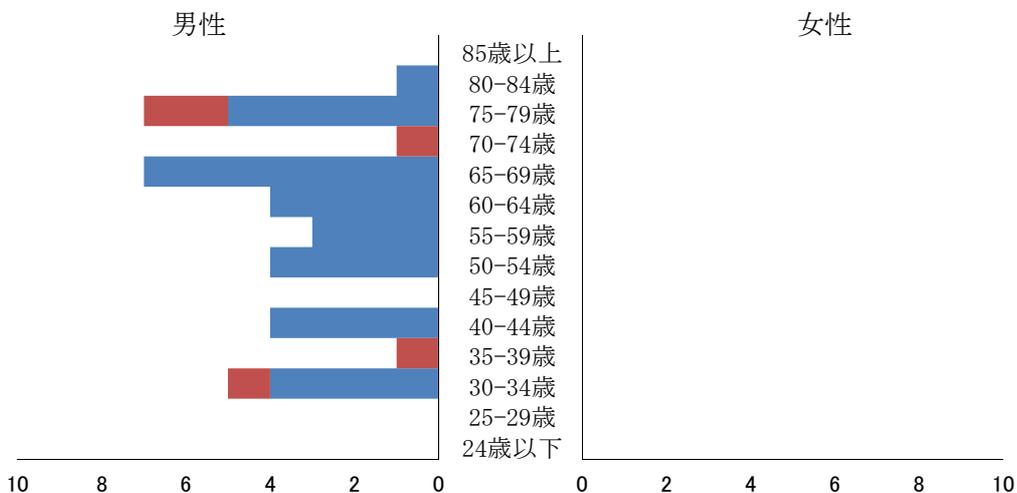
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 熊毛医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	42,760	38,008	33,220	-9,540	-22%	-4,752	-11%	-4,788	-13%	
医療施設勤務医師数	51	52	42	-9	-18%	1	2%	-10	-19%	
人口10万対	119.3	136.8	126.4	7.2	6%	17.5	15%	-10.4	-8%	
男性医師数	47	48	40	-7	-15%	1	2%	-8	-17%	
人口10万対	109.9	126.3	120.4	10.5	10%	16.4	15%	-5.9	-5%	
女性医師数	4	2	0	-4	-100%	-2	-50%	-2	-100%	
人口10万対	9.4	5.3	0.0	-9.4	-100%	-4.1	-44%	-5.3	-100%	
病院勤務医師数	36	40	35	-1	-3%	4	11%	-5	-13%	
人口10万対	84.2	105.2	105.4	21.2	25%	21.1	25%	0.1	0%	
診療所勤務医師数	15	10	5	-10	-67%	-5	-33%	-5	-50%	
人口10万対	35.1	26.3	15.1	-20.0	-57%	-8.8	-25%	-11.3	-43%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	6	6	6	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	17	9	6	-11	-65%	-8	-47%	-3	-33%
	50-64歳	10	14	14	4	40%	4	40%	0	0%
	65歳以上	18	23	16	-2	-11%	5	28%	-7	-30%
	75歳以上(再掲)	6	16	9	3	50%	10	167%	-7	-44%
男性	24-34歳	6	6	5	-1	-17%	0	0%	-1	-17%
	35-49歳	15	8	5	-10	-67%	-7	-47%	-3	-38%
	50-64歳	9	13	13	4	44%	4	44%	0	0%
	65歳以上	17	21	17	0	0%	4	24%	-4	-19%
	75歳以上(再掲)	6	14	9	3	50%	8	133%	-5	-36%
女性	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	50-64歳	1	2	0	-1	-100%	1	100%	-2	-100%
	65歳以上	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	16	9	6	-10	-63%	-7	-44%	-3	-33%
	50-64歳	6	12	13	7	117%	6	100%	1	8%
	65歳以上	9	14	11	2	22%	5	56%	-3	-21%
	75歳以上(再掲)	3	10	6	3	100%	7	233%	-4	-40%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	50-64歳	4	1	0	-4	-100%	-3	-75%	-1	-100%
	65歳以上	9	7	3	-6	-67%	-2	-22%	-4	-57%
	75歳以上(再掲)	3	3	2	-1	-33%	0	0%	-1	-33%
	85歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 奄美医療圏

## ＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は25,644人(-19%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は11人(6%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は180人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は31%増え、その伸び率は全国平均(31%)と同程度である。

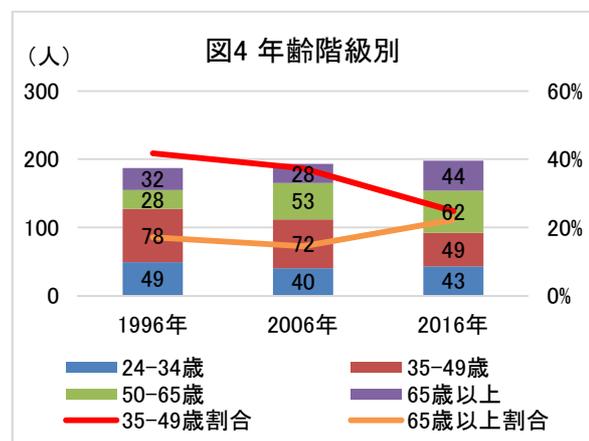
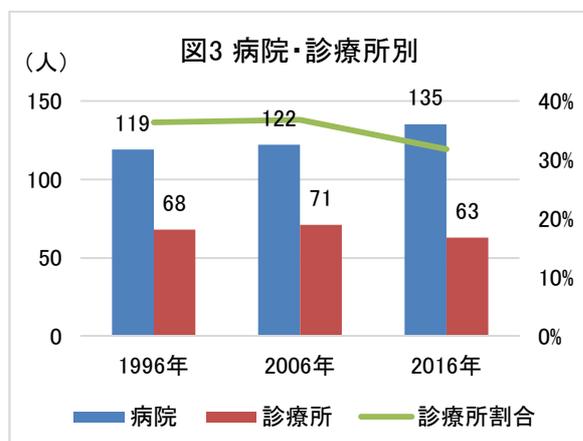
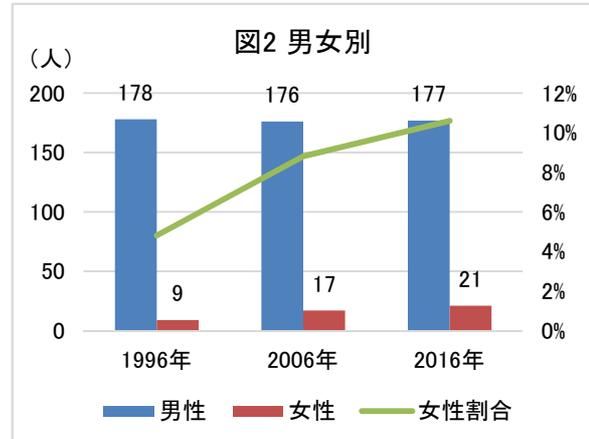
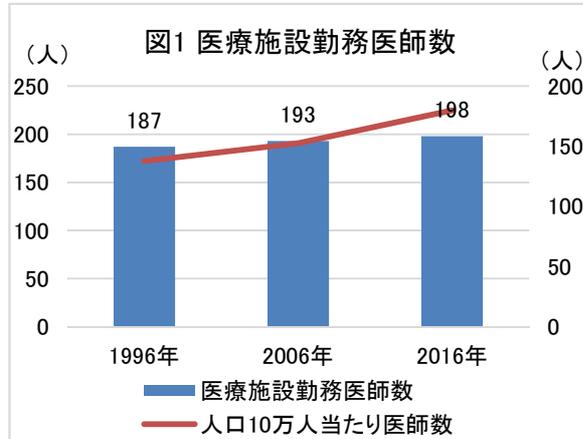
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて1人(-1%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に12人(133%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は11%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて16人(13%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人(-7%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は32%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は29人(-37%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて12人(38%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年17%、2016年22%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 奄美医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	135,791	126,483	110,147	-25,644	-19%	-9,308	-7%	-16,336	-13%	
総医師数	190	201	204	14	7%	11	6%	3	1%	
人口10万対	139.9	158.9	185.2	45.3	32%	19.0	14%	26.3	17%	
医療施設勤務医師数	187	193	198	11	6%	6	3%	5	3%	
人口10万対	137.7	152.6	179.8	42.0	31%	14.9	11%	27.2	18%	
男性医師数	178	176	177	-1	-1%	-2	-1%	1	1%	
人口10万対	131.1	139.1	160.7	29.6	23%	8.1	6%	21.5	15%	
女性医師数	9	17	21	12	133%	8	89%	4	24%	
人口10万対	6.6	13.4	19.1	12.4	188%	6.8	103%	5.6	42%	
病院勤務医師数	119	122	135	16	13%	3	3%	13	11%	
人口10万対	87.6	96.5	122.6	34.9	40%	8.8	10%	26.1	27%	
診療所勤務医師数	68	71	63	-5	-7%	3	4%	-8	-11%	
人口10万対	50.1	56.1	57.2	7.1	14%	6.1	12%	1.1	2%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.6	48.6	50.9	4.3	9%	2.0	4%	2.3	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	49	40	43	-6	-12%	-9	-18%	3	8%
	35-49歳	78	72	49	-29	-37%	-6	-8%	-23	-32%
	50-64歳	28	53	62	34	121%	25	89%	9	17%
	65歳以上	32	28	44	12	38%	-4	-13%	16	57%
	75歳以上(再掲)	10	10	13	3	30%	0	0%	3	30%
男性	24-34歳	42	32	36	-6	-14%	-10	-24%	4	13%
	35-49歳	76	65	40	-36	-47%	-11	-14%	-25	-38%
	50-64歳	28	51	57	29	104%	23	82%	6	12%
	65歳以上	32	28	44	12	38%	-4	-13%	16	57%
	75歳以上(再掲)	10	10	13	3	30%	0	0%	3	30%
女性	24-34歳	7	8	7	0	0%	1	14%	-1	-13%
	35-49歳	2	7	9	7	350%	5	250%	2	29%
	50-64歳	0	2	5	5		2		3	150%
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	41	34	40	-1	-2%	-7	-17%	6	18%
	35-49歳	57	51	39	-18	-32%	-6	-11%	-12	-24%
	50-64歳	10	24	36	26	260%	14	140%	12	50%
	65歳以上	11	13	20	9	82%	2	18%	7	54%
	75歳以上(再掲)	4	2	5	1	25%	-2	-50%	3	150%
診療所	24-34歳	8	6	3	-5	-63%	-2	-25%	-3	-50%
	35-49歳	21	21	10	-11	-52%	0	0%	-11	-52%
	50-64歳	18	29	26	8	44%	11	61%	-3	-10%
	65歳以上	21	15	24	3	14%	-6	-29%	9	60%
	75歳以上(再掲)	6	8	8	2	33%	2	33%	0	0%
	85歳以上(再掲)	0	2	1	1		2		-1	-50%

## 奄美医療圏

## ＜医師数の推移＞

奄美医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科、救急科であり、少ない診療科は、小児科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、皮膚科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、脳神経外科、整形外科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	187	137.7	44	193	152.6	43	198	179.8	43	11	6%	42.0	31%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	94	69.2	48	90	71.2	47	83	75.4	46	-11	-12%	6.1	9%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	10	7.4	42	8	6.3	38	7	6.4	37	-3	-30%	-1.0	-14%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	12	8.8	52	21	16.6	65	17	15.4	56	5	42%	6.6	75%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	20	14.7	43	23	18.2	50	18	16.3	46	-2	-10%	1.6	11%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.7	55	0	0.0	41	1	0.9	54	0	0%	0.2	23%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	2	1.5	38	2	1.6	36	3	2.7	38	1	50%	1.3	85%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	8	5.9	35	10	7.9	36	12	10.9	39	4	50%	5.0	85%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	1	0.8	45	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	5	3.7	45	6	4.7	46	3	2.7	38	-2	-40%	-1.0	-26%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	5	3.7	39	3	2.4	32	7	6.4	40	2	40%	2.7	73%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	5	3.7	40	5	4.0	41	4	3.6	38	-1	-20%	-0.1	-1%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	3	2.2	42	3	2.4	39	3	2.7	39	0	0%	0.5	23%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	12	8.8	48	9	7.1	45	9	8.2	45	-3	-25%	-0.7	-8%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	0.8	45	1	0.9	43	1	0%	0.9	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	2	1.5	44	2	1.6	43	2	1.8	41	0	0%	0.3	23%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	5	3.7	49	3	2.4	43	5	4.5	44	0	0%	0.9	23%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	4	3.6	55	4	0%	3.6	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				5	4.0	41	17	15.4	52	17	240%	11.5	290%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	3	2.2	45	1	0.8	41	2	1.8	40	-1	-33%	-0.4	-18%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 奄美医療圏

## ＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は22,332人(-20%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は5人(-3%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は220人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は22%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

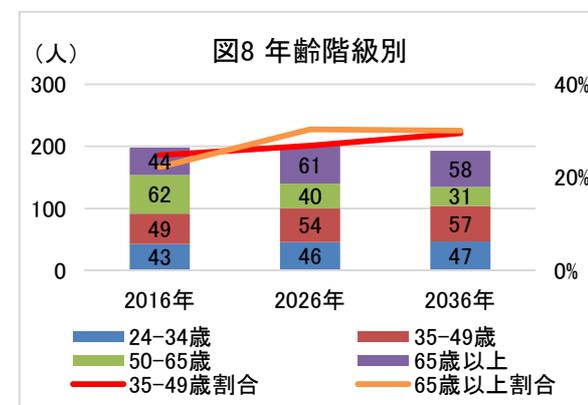
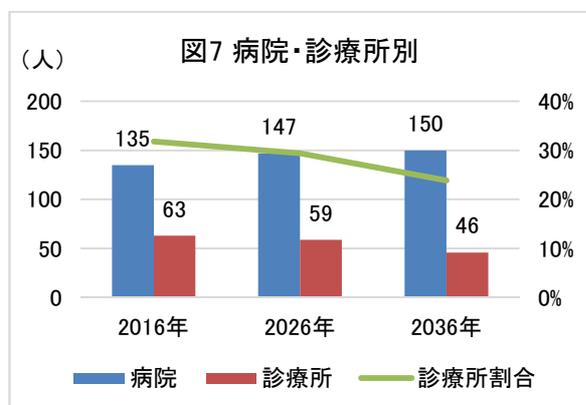
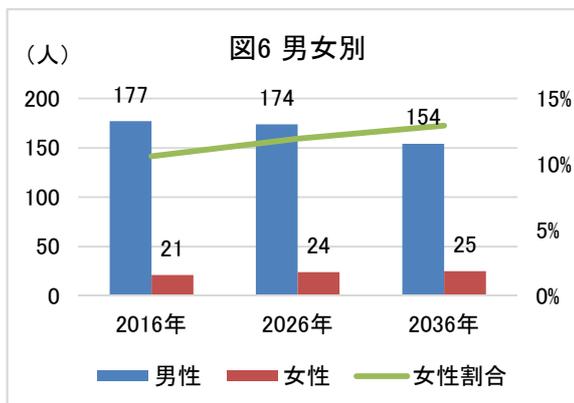
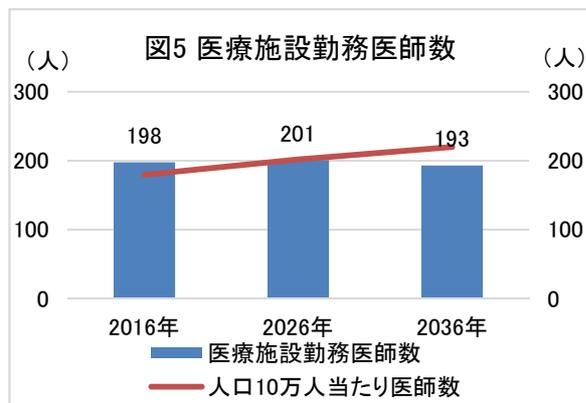
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて23人(-13%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に4人(19%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は13%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて15人(11%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に17人(-27%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は24%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は8人(16%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて14人(32%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年22%、2036年30%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



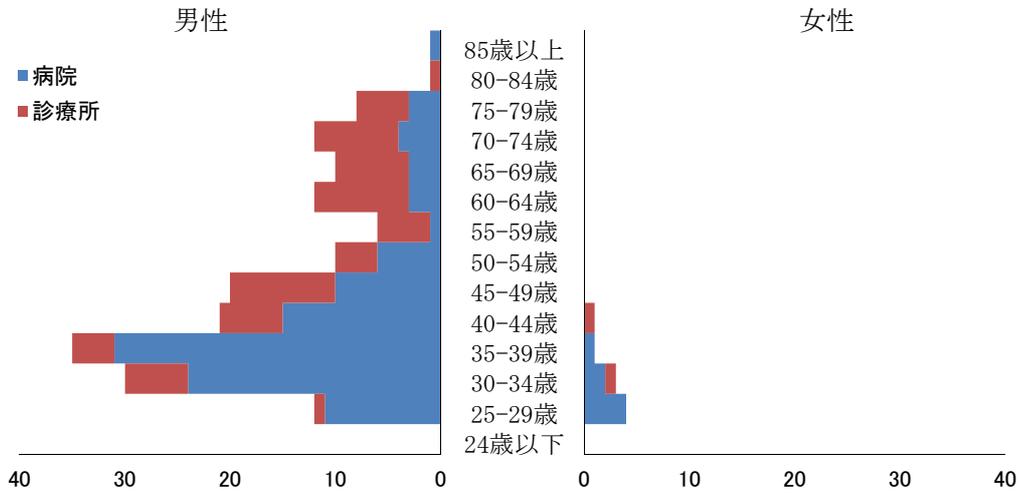
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 奄美医療圏

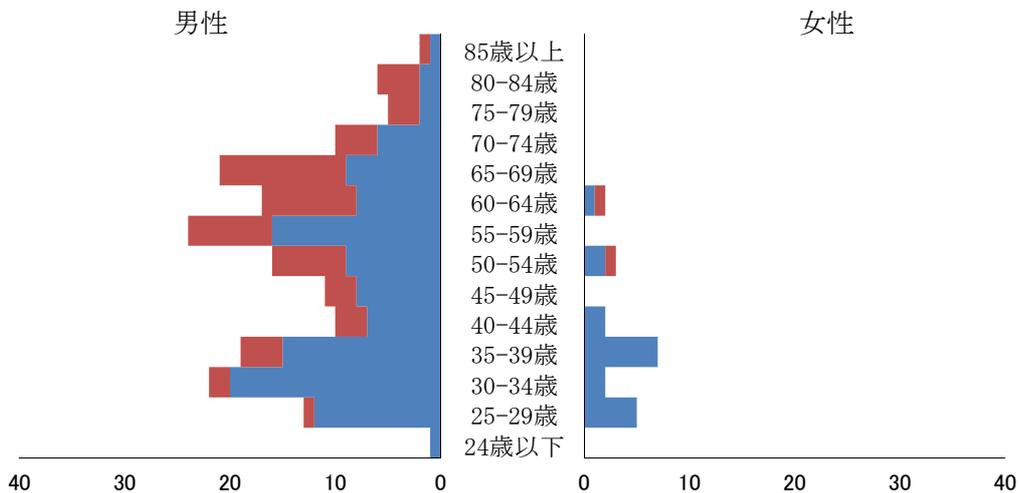
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

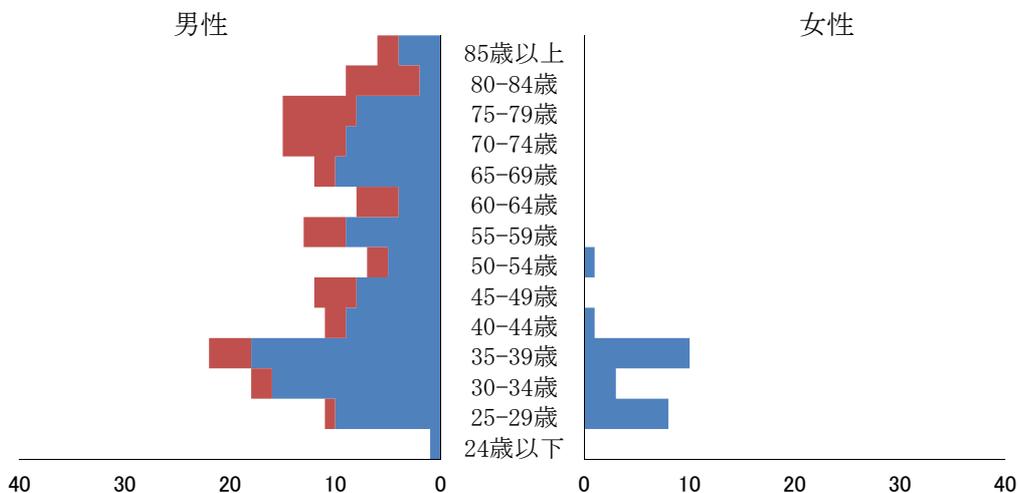
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 奄美医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	110,147	99,527	87,815	-22,332	-20%	-10,620	-10%	-11,712	-12%	
医療施設勤務医師数	198	201	193	-5	-3%	3	2%	-8	-4%	
人口10万対	179.8	202.0	219.8	40.0	22%	22.2	12%	17.8	9%	
男性医師数	177	174	154	-23	-13%	-3	-2%	-20	-11%	
人口10万対	160.7	174.8	175.4	14.7	9%	14.1	9%	0.5	0%	
女性医師数	21	24	25	4	19%	3	14%	1	4%	
人口10万対	19.1	24.1	28.5	9.4	49%	5.0	26%	4.4	18%	
病院勤務医師数	135	147	150	15	11%	12	9%	3	2%	
人口10万対	122.6	147.7	170.8	48.3	39%	25.1	21%	23.1	16%	
診療所勤務医師数	63	59	46	-17	-27%	-4	-6%	-13	-22%	
人口10万対	57.2	59.3	52.4	-4.8	-8%	2.1	4%	-6.9	-12%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	43	46	47	4	9%	3	7%	1	2%
	35-49歳	49	54	57	8	16%	5	10%	3	6%
	50-64歳	62	40	31	-31	-50%	-22	-35%	-9	-23%
	65歳以上	44	61	58	14	32%	17	39%	-3	-5%
	75歳以上(再掲)	13	23	29	16	123%	10	77%	6	26%
男性	24-34歳	36	38	30	-6	-17%	2	6%	-8	-21%
	35-49歳	40	41	43	3	8%	1	2%	2	5%
	50-64歳	57	35	26	-31	-54%	-22	-39%	-9	-26%
	65歳以上	44	60	55	11	25%	16	36%	-5	-8%
	75歳以上(再掲)	13	23	29	16	123%	10	77%	6	26%
女性	24-34歳	7	7	11	4	57%	0	0%	4	57%
	35-49歳	9	10	11	2	22%	1	11%	1	10%
	50-64歳	5	7	3	-2	-40%	2	40%	-4	-57%
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	40	43	44	4	10%	3	8%	1	2%
	35-49歳	39	44	48	9	23%	5	13%	4	9%
	50-64歳	36	27	23	-13	-36%	-9	-25%	-4	-15%
	65歳以上	20	33	35	15	75%	13	65%	2	6%
	75歳以上(再掲)	5	10	14	9	180%	5	100%	4	40%
診療所	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	10	10	10	0	0%	0	0%	0	0%
	50-64歳	26	14	8	-18	-69%	-12	-46%	-6	-43%
	65歳以上	24	32	25	1	4%	8	33%	-7	-22%
	75歳以上(再掲)	8	17	17	9	113%	9	113%	0	0%
	85歳以上(再掲)	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)